

令和2年度
静岡県訪問看護実態調査

訪問看護ステーション
病院・診療所

報 告 書

一般社団法人

静岡県訪問看護ステーション協議会

静岡県訪問看護ステーション実態調査

結果

目次

I	目的	1
II	調査概要	1
III	調査方法	1
IV	調査期間	1
V	調査結果	
1.	訪問看護ステーションの概要	
1)	設置主体	2
2)	同一法人の併設医療機関	3
3)	同一法人の併設事業	3
4)	サテライトの設置について	4
5)	機能強化型について	5
6)	加算の届出状況	6
7)	職員体制	7
8)	看護職員の年齢構成	11
9)	常勤換算数と利用者数	12
10)	専門看護師・認定看護師の在籍状況	12
11)	研修の受講状況について	13
12)	看護学生実習の受け入れ状況について	14
13)	収支状況について	14
2.	利用者の状況	
1)	利用者の年齢・性別	17
2)	保険別の利用者数・訪問回数	18
3)	介護保険利用者の内訳	19
4)	訪問看護指示書の発行元	20
5)	令和2年6月、1か月間の新規利用者	20
6)	令和2年6月で終了した利用者数	21
7)	在宅での看取り数	21
i)	事業所規模別の看取りの状況	22
ii)	地区別の看取りの状況	23
iii)	在宅看取りの場所	24
8)	医療処置の実施状況	24
3.	対象者別対応状況	26
4.	令和元年度看護職員の就業・求人状況	29
5.	令和元年度看護職員の退職状況	31
6.	利用者からのハラスメント	35

令和2年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査

I 目的

本調査は、看護職員の年齢構成や退職の原因を含む静岡県内の訪問看護ステーションの実態を把握し、今後の訪問看護ステーション活動の発展向上に役立てることを目的とする。

II 調査概要

- (1) 調査対象 静岡県内の現存する訪問看護ステーション 229 か所
(東部 85 か所、中部 68 か所、西部 76 か所)

【平成 30 年調査時：200 か所
(東部 76 か所、中部 59 か所、西部 65 か所)】

- (2) 回答件数 225 件 (回収率 98.3%)

- (3) 調査内容
- ① 訪問看護ステーションの届出状況
 - ② 訪問看護ステーションの実施状況
 - ③ 看護職員の就業状況
 - ④ 看護職員の退職状況
 - ⑤ 利用者からのハラスメント

- III 調査方法 郵送配布・回収 (自記方式)

- IV 調査期間 令和2年5月22日～令和2年7月20日
調査基準期間：令和2年6月1日～令和2年6月30日

V 調査結果

1. 訪問看護ステーションの概要

1) 設置主体

「株式会社・有限会社・合同会社」が112か所（49.8%）と最も多く、前回調査時より19か所増えている。その内看護師、あるいはその家族が起業している事業所数は、東部で16か所、中部で11か所、西部で3か所の合計30か所で「株式会社・有限会社・合同会社」の26.8%である。前回調査より5か所増加している。医療法人は56か所（24.9%）で前回より5か所増加している。

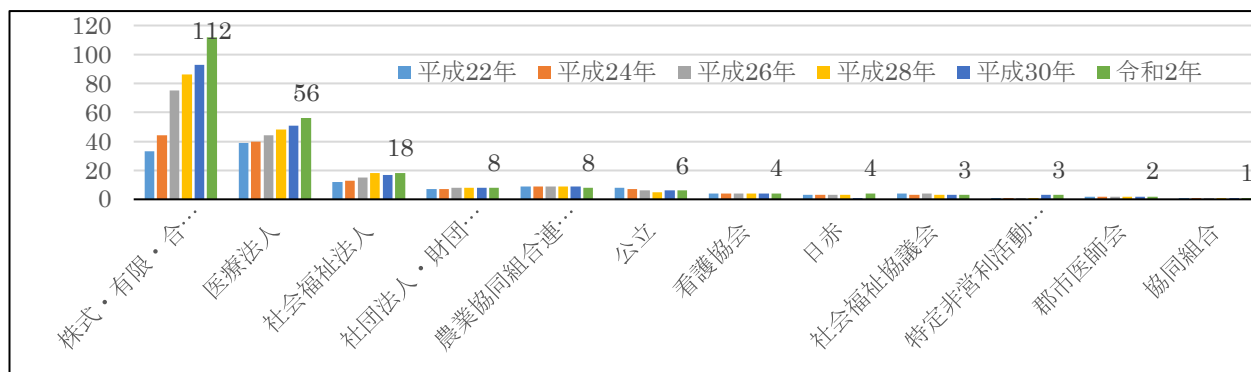
表1 医療圏別・設置主体別訪問看護ステーション数 (n=225)

医療圏	公立	日赤	医療法人	医師会	看護協会	社・財法人	社協	社福法人	厚生連	株式・有限・合同会社	NPO・協同組合	合計
賀茂			3							4		7
熱海伊東			2					1		9		12
駿東田方		2	8	1		6		2	2	23	1	45
富士	1		7			2		1		10		21
静岡		1	12		1		1	3	3	27	1	49
志太榛原	2		6	1			1			7		17
中東遠	2		5		3		1	1	1	5		18
西部	1	1	13					11	1	27	2	56
合計	6	4	56	2	4	8	3	19	7	112	4	225

表1-2 設置主体別訪問看護ステーション数と割合 (n=225)

	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
株式・有限・合同会社	112	49.8%	93	47.0%	86	45.7%	75	43.6%	44	32.6%	33	26.8%
医療法人	56	24.9%	51	25.8%	48	25.5%	44	25.6%	40	29.6%	39	31.7%
社会福祉法人	18	8.0%	17	8.6%	18	9.6%	15	8.7%	13	9.6%	12	9.8%
社団法人・ 財団法人	8	3.6%	8	4.0%	8	4.3%	8	4.7%	7	5.2%	7	5.7%
農業協同組合連 合会・農協共済	8	3.6%	9	4.5%	9	4.8%	9	5.2%	9	6.7%	9	7.3%
公立	6	2.7%	6	3.0%	5	2.7%	6	3.5%	7	5.2%	8	6.5%
看護協会	4	1.8%	4	2.0%	4	2.1%	4	2.3%	4	3.0%	4	3.3%
日赤	4	1.8%	1	0.5%	3	1.6%	3	1.7%	3	2.2%	3	2.4%
社会福祉協議会	3	1.3%	3	1.5%	3	1.6%	4	2.3%	3	2.2%	4	3.3%
特定非営利活動法人	3	1.3%	3	1.5%	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
郡市医師会	2	0.9%	2	1.0%	2	1.1%	2	1.2%	2	1.5%	2	1.6%
協同組合	1	0.4%	1	0.5%	1	0.5%	1	0.6%	1	0.7%	1	0.8%
計	225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

図1 設置主体



2) 同一法人の併設医療機関

同一法人の併設医療機関は「併設あり」が85か所(37.8%)、「併設なし」が140か所(62.2%)であった。「併設あり」のうち、病院・診療所共に併設しているのは、20か所(8.9%)、病院のみ併設が45か所(20.0%)、診療所のみが20か所(8.9%)であった。

前回調査より、併設なしの事業所が17か所増えた他は大きな変化はなかった。

表2 同一法人の併設医療機関の有無 (n=225)

		今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
		数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
併 設 有	病院	45	20.0%	38	19.2%	39	20.7%	41	23.8%	39	28.9%	44	35.8%
	診療所	20	8.9%	21	10.6%	20	10.6%	15	8.7%	15	11.1%	15	12.2%
	病院・診療所	20	8.9%	16	8.1%	16	8.5%	23	13.4%	21	15.6%	10	8.1%
併設医療機関なし		140	62.2%	123	62.1%	113	60.1%	93	54.1%	60	44.4%	54	43.9%
計		225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

3) 同一法人の併設事業

同一法人で「併設事業あり」は、183か所(81.3%)で、前回調査より21か所増えている。「併設事業所なし」は、42か所(18.7%)であった。

併設事業で最も多いのは、居宅介護支援事業で126か所(68.9%)、次いで訪問介護90か所(49.2%)、通所介護83か所(45.4%)であった。その他として、住宅型有料老人ホーム、就労継続B型事業所、包括支援センター、製造業等の併設があった。

表3 同一法人の併設事業の有無 (n=225)

	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
併設事業あり	183	81.3%	162	81.8%	152	80.9%	140	81.4%	116	85.9%	105	85.4%
併設事業なし	42	18.7%	36	18.2%	36	19.1%	32	18.6%	19	14.1%	18	14.6%
計	225	100%	198	100%	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%

表 3-2 併設事業の内訳 複数回答 (n=183)

事業の種類	今 回		第 5 回 (H30.6)		第 4 回 (H28.6)		第 3 回 (H26.6)		第 2 回 (H24.9)		第 1 回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
居宅介護支援事業所	126	68.9%	129	79.6%	123	80.9%	111	79.3%	92	79.3%	97	92.4%
訪問介護	90	49.2%	81	50.0%	77	50.7%	68	48.6%	60	51.7%	49	46.7%
通所介護	83	45.4%	78	48.1%	80	52.6%	66	47.1%	57	49.1%	49	46.7%
通所リハビリ	56	30.6%	53	32.7%	54	35.5%	48	34.3%	46	39.7%	43	41.0%
老人保健施設	40	21.9%	36	22.2%	36	23.7%	36	25.7%	37	31.9%	28	26.7%
グループホーム	37	20.2%	34	21.0%	32	21.1%	29	20.7%	23	19.8%	18	17.1%
訪問リハビリ	36	19.7%	33	20.4%	23	15.1%	20	14.3%	19	16.4%	13	12.4%
その他	36	19.7%	29	17.9%	27	17.8%	24	17.1%	13	11.2%	24	22.9%
短期入所療養介護	26	14.2%	22	13.6%	28	18.4%	28	20.0%	26	22.4%	18	17.1%
看護小規模多機能	24	13.1%	20	12.3%	12	7.9%	2	1.4%	0	0%		
小規模多機能	24	13.1%	27	16.7%	23	15.1%	19	13.6%	16	13.8%	11	10.5%
短期入所生活介護	23	12.6%	27	16.7%	28	18.4%	20	14.3%	17	14.7%	14	13.3%
特別養護老人ホーム	21	11.5%	20	12.3%	23	15.1%	17	12.1%	19	16.4%	15	14.3%
サービス付き高齢者専用住宅	21	11.5%	20	12.3%	14	9.2%						
福祉用具貸与	20	10.9%	22	13.6%	22	14.5%	20	14.3%	15	12.9%	9	8.6%
定期巡回・随時対応	12	6.6%	13	8.0%	19	12.5%	14	10.0%				
訪問入浴	11	6.0%	10	6.2%	9	5.9%	13	9.3%	19	16.4%	8	7.6%
介護医療院	10	5.5%	0	0%								
ケアハウス	8	4.4%	4	2.5%	8	5.3%	6	4.3%	8	6.9%	9	8.6%
療養介護通所	5	2.7%	5	3.1%	5	3.3%	6	4.3%	12	10.3%	6	5.7%

4) サテライトの設置について

サテライトは、24 事業所 (10.7%) が設置している。設置数は、3 か所設置が 1 事業所、2 か所設置が 1 事業所、1 か所設置が 22 事業所で、サテライト数は合計 27 である。開設準備中が 1 か所あった。

サテライト設置の意向はあるが、困難であると回答した事業所は 23 か所 (10.2%) である。設置困難の理由に 21 か所が人材不足と初期投資費用をあげている。

表 4 サテライト設置状況 (n=225)

	数	割合
既に設置	24	10.7%
設置の意向なし	177	78.7%
設置の意向はあるが困難	23	10.2%
開設準備中	1	0.4%

表 4-2 サテライト設置困難理由 (n=23) 複数回答

	数	割合
人材確保が困難	21	91.3%
初期投資費用	21	91.3%
黒字化・利益見込めない	3	13.0%
ニーズ不明	3	13.0%

5) 機能強化型について

機能強化型の要件を満たし届出をしている事業所は19か所(8.4%)である。機能強化型の要件を満たしているが、届出をしていない事業所が5か所(2.2%)。機能強化型を目指しているが、要件を満たしていない事業所が94か所(41.8%)。要件を満たしていない、又は届出の意向もない事業所が107か所(47.6%)であった。

表5 機能強化型の届出状況 (n=225)

	数	割合
要件を満たし届出をしている	19	8.4%
要件を満たしているが届出をしていない	5	2.2%
意向はあるが、要件を満たしていない	94	41.8%
要件を満たしていない、または意向がない	107	47.6%
計	225	100%

表5-2 機能強化型の届出をしている事業所の地区別 (n=19)

	圏域	機能強化型1	機能強化型2	機能強化型3	計
東部	賀茂	0	0	0	0
	熱海・伊東	0	1	0	1
	駿東・田方	1	1	2	4
	富士	2	0	0	2
中部	静岡	1	1	1	3
	志太・榛原	1	0	1	2
西部	中東遠	0	5	0	5
	西部	0	1	1	2
合計		5	9	5	19

6) 加算の届出状況

加算の届出状況は、特別管理加算が最も多く、206 か所（91.6%）である。精神科訪問看護基本療養費は116 か所（51.6%）が届出をしており、前回調査より17 か所増えている。看護体制強化加算、定期巡回・随時対応サービス連携は、いずれも前回調査より減少している。

表6 加算の届出状況（n=225）

届出の有無 加算の種類	今 回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
特別管理加算	206	91.6%	184	92.9%	176	93.6%	161	93.6%	126	93.3%	115	93.5%
緊急時訪問看護加算	202	89.8%	180	90.9%	174	92.6%	156	90.7%	121	89.6%	105	85.4%
24時間対応体制加算	199	88.4%	177	89.4%	165	87.8%	148	86.0%	113	83.7%	98	79.7%
ターミナルケア加算	190	84.4%	173	87.4%	172	91.5%	153	89.0%	120	88.9%	105	85.4%
精神科訪問看護療養費	116	51.6%	99	50.0%	81	43.1%	68	38.4%				
サービス提供体制強化加算	98	43.6%	92	46.5%	98	52.1%	91	52.9%	88	65.2%	81	65.9%
看護体制強化加算	33	14.7%	34	17.2%	40	21.3%						
定期巡回・随時対応サービス連携	14	6.2%	17	8.6%	25	13.3%	15	8.7%				
精神科重症患者支援管理連携	18	8.0%	13	6.6%								
居宅療養管理指導	7	3.1%	8	4.0%	7	3.7%	14	8.1%	12	8.9%	13	10.6%
機能強化型訪問看護管理療養費1	5	2.2%	6	3.0%	3	1.6%	3	1.7%				
機能強化型訪問看護管理療養費2	9	4.0%	2	1.0%	5	2.7%	6	3.5%				
機能強化型訪問看護管理療養費3	5	2.2%	2	1.0%								

表6-2 加算の6月実績数（n=225）

	届出数	算定実績
特別管理加算	206	3,685
緊急時訪問看護加算	202	9,206
24時間対応体制加算	199	3,642
ターミナルケア加算	190	201
精神科訪問看護療養費	116	4,153
サービス提供体制強化加算	98	33,907
看護体制強化加算	33	1,684
定期巡回・随時対応サービス連携	14	194
精神科重症患者支援管理連携	18	2
居宅療養管理指導	7	31
機能強化型訪問看護管理療養費1	5	478
機能強化型訪問看護管理療養費2	9	404
機能強化型訪問看護管理療養費3	5	255

7) 職員体制

職員区分別では、「看護職員」が1,510人(69.6%)、「リハビリ職員」が489人(22.5%)「事務職員」が167人(7.7%)であった。前回調査より、常勤換算従事者総数は249.7人増加している。

1事業所あたりの職種別従事者数は、「看護職員」の常勤換算は5.25人で、前回調査より0.08人増加している。これまでの調査の中で最も多い。「リハビリ職員」は1.59人で、これまでの調査の中で最も多い。

看護職員の常勤換算数は、前回調査時では「4.0～4.9人」が最も多かったが、今回の調査では「3.0～3.9人」が48か所(21.3%)と最も多い。「2.5～2.9人」は37か所(16.4%)と前回調査より増加している。5人未満の小規模事業所は129か所(57.3%)で、全体の6割程である。

表7 職種別職員数 令和2年6月現在 (単位:人)

	従事者数				常勤換算従事者数	
	総数	常勤		非常勤		
		専従	兼務			
総数	2,169	1,100	248	821	1668.4	100%
保健師	28	9	1	18	18.9	1.1%
助産師	6	2	0	4	3.1	0.2%
看護師	1,395	711	117	567	1106.2	66.3%
准看護師	81	40	4	37	55.0	3.3%
理学療法士	314	167	63	84	230.6	13.8%
作業療法士	156	88	24	44	115.0	6.9%
言語聴覚士	19	6	7	6	10.6	0.6%
精神保健福祉士	3	3	0	0	3.0	0.2%
事務職員	167	74	32	61	126.0	7.6%

表7-2 過去の常勤換算従事者数の推移(平成22年～平成30年)

	第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
総数	1418.7	100%	1273.7	100%	1072.2	100%	838.6	100%	763.7	100%
保健師	11.5	0.8%	9.7	0.8%	11.2	1.0%	11.3	1.4%	7.7	1.0%
助産師	2.4	0.2%	2.4	0.2%	4.1	0.4%	2.1	0.2%	2.2	0.3%
看護師	958.3	67.5%	843.9	66.3%	710.5	66.3%	589.3	70.3%	544.0	71.2%
准看護師	50.8	3.6%	53.7	4.2%	57.0	5.3%	32.9	3.9%	34.0	4.5%
理学療法士	189.3	13.4%	158.3	12.4%	136.2	12.7%	102.6	12.2%	77.7	10.2%
作業療法士	98.2	7.0%	79.8	6.3%	54.0	5.0%	35.1	4.2%	26.0	3.4%
言語聴覚士	6.1	0.4%	4.5	0.4%	4.3	0.4%	1.8	0.2%	1.8	0.2%
事務職員	102.1	7.2%	102.1	8.6%	87.9	8.2%	58.6	7.0%	48.3	6.3%
その他			19.3	1.5%	7.0	0.7%	4.9	0.6%	22.0	2.9%

表 7-3 1事業所あたりの職員別従事者数 (n=225、単位：人)

	従事者数			常勤換算 従事者数	第5回 (H30.6)	第4回 (H28.6)	第3回 (H26.6)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
	総数	常勤	非常勤	人数	常勤換算 人数	常勤換算 人数	常勤換算 人数	常勤換算 人数	常勤換算 人数
総数	9.64	5.99	3.65	7.41	7.18	6.74	6.53	6.21	6.20
保健師	0.12	0.04	0.08	0.08	0.06	0.05	0.07	0.08	0.06
助産師	0.03	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02
看護師	6.20	3.68	2.52	4.92	4.84	4.49	4.13	4.33	4.42
准看護師	0.36	0.20	0.16	0.24	0.26	0.29	0.33	0.28	0.28
理学療法士	1.39	1.02	0.37	1.03	0.96	0.84	0.79	0.76	0.63
作業療法士	0.70	0.50	0.20	0.51	0.50	0.42	0.31	0.26	0.21
言語聴覚士	0.09	0.06	0.03	0.05	0.03	0.02	0.33	0.01	0.01
精神保健福祉士	0.01	0.01	0	0.01					
事務職員	0.74	0.47	0.27	0.56	0.52	0.51	0.51	0.43	0.39
その他						0.10	0.04	0.04	0.18

図 2 1事業所あたりの職種別従事者割合 (n=225、単位：人)

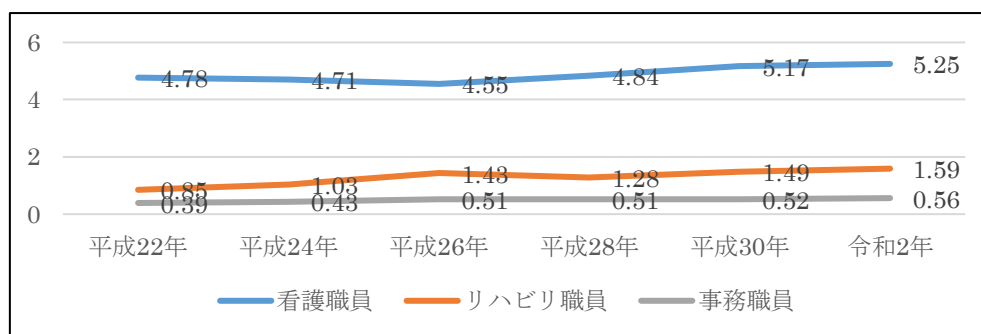
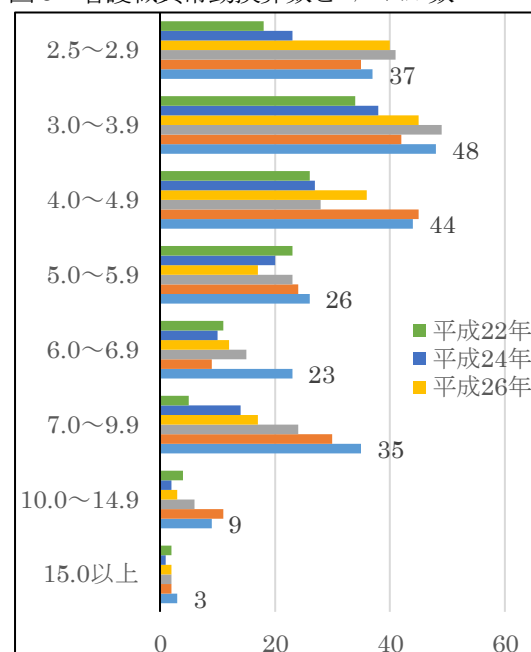


表 8 看護職員常勤換算数とステーション数 (n=225)

	今回	第5回 (H30.6)	第4回 (H28.6)	第3回 (H26.6)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
2.5~2.9	37	35	41	40	23	18
3.0~3.9	48	42	49	45	38	34
4.0~4.9	44	45	28	36	27	26
5.0~5.9	26	24	23	17	20	23
6.0~6.9	23	9	15	12	10	11
7.0~9.9	35	30	24	17	14	5
10.0~14.9	9	11	6	3	2	4
15.0以上	3	2	2	2	1	2
計	225	198	188	172	135	123

図 3 看護職員常勤換算数とステーション数



令和元年6月以降開設の事業所19か所の常勤換算数は、「2.5～2.9人」が6か所（31.6%）、「3.0～3.9人」が9か所（47.4%）で、15か所（78.9%）が4人未満であった。

地区別の看護職の常勤換算では、東部と中部は前回調査より増加しているが、西部は若干減少している。医療圏域別看護職員の常勤換算では、賀茂圏域が2.87人と最も少なく、中東遠圏域が6.50人と最も多かった。

表9 開設1年以内の事業所看護職員の常勤換算数（n=19）（令和元年6月以降新設事業所）

常勤換算数	新設事業所数
2.5～2.9	6
3.0～3.9	9
4.0～4.9	4
計	19

表10 医療圏・地区別看護職員・リハ職員常勤換算

	圏域	看護師	保健師	助産師	准看護師	PT	OT	ST	看護職員/施設
東部	賀茂	12.6	0	0	7.5	0.7	1.0	0	2.87
	熱海・伊東	49.0	0	0	5.1	7.8	7.8	0.5	4.51
	駿東・田方	216.7	1.5	1.6	8.8	47.7	27.8	3.6	5.08
	富士	105.8	4.4	0.4	12.5	25.0	8.0	0	5.86
中部	静岡	249.1	3.2	0.1	7.9	73.5	31.9	4.4	5.31
	志太・榛原	75.7	0	0	3.5	10.4	4.1	0	4.66
西部	中東遠	114.1	1.0	0	1.9	16.3	7.6	0.1	6.50
	西部	283.2	8.8	1.0	7.8	49.2	26.8	2.0	5.37
合計		1106.2	18.9	3.1	55.0	230.6	115.0	10.6	40.16

表10-2 地区別の看護職員常勤換算の推移（平成22年6月～平成30年6月）

【 東部 】

	第5回 (H30.6)	第4回 (H28.6)	第3回 (H26.6)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	4.43	3.98	3.69	4.29	3.92
保健師	0.05	0.01	0.02	0.01	0.06
助産師	0.01	0.03	0.02	0	0.02
准看護師	0.38	0.40	0.53	0.40	0.50
計	4.87	4.42	4.26	4.70	4.50

【 中部 】

	第5回 (H30.6)	第4回 (H28.6)	第3回 (H26.6)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	4.77	4.46	4.11	4.25	4.71
保健師	0.04	0.06	0.06	0.04	0.06
助産師	0.02	0.04	0.05	0	0
准看護師	0.29	0.26	0.21	0.32	0.27
計	5.12	4.82	4.43	4.61	5.04

【 西部 】

	第5回 (H30.6)	第4回 (H28.6)	第3回 (H26.6)	第2回 (H24.9)	第1回 (H22.9)
看護師	5.38	5.16	4.66	4.52	4.71
保健師	0.08	0.10	0.13	0.18	0.07
助産師	0.02	0	0	0.04	0.03
准看護師	0.08	0.14	0.21	0.04	0.05
計	5.56	5.39	5.00	4.78	4.86

看護職員とリハ職員の割合（看護職員／看護職員＋リハ職員）

看護職員の割合が60%未満の事業所は29か所（12.9%）あった。

看護体制強化加算は225か所のうち、33か所（14.7%）が届出をしているが、看護職員の割合が6割以下の事業所の届け出はなかった。

看護職員の割合が60%未満の事業所の加算の届出状況は、緊急時訪問看護加算26か所（89.7%）、24時間対応体制加算・特別管理加算は27か所（93.1%）、ターミナルケア加算25か所（86.2%）であった。

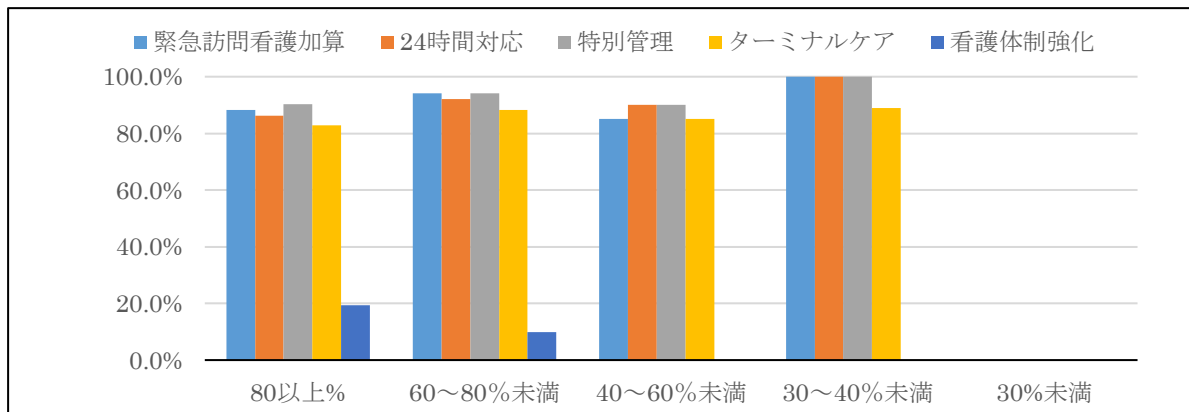
表11 看護職員の割合（n=225）

看護職員の割合	事業所数	割合
30%未満	0	0%
30～40%未満	9	4%
40～60%未満	20	8.9%
60～80%未満	51	22.7%
80%以上	145	64.4%
計	225	100%

表12 看護職員の割合と加算の届出状況

看護職員の割合	事業所数	緊急時訪問看護加算	24時間対応体制加算	特別管理加算	ターミナルケア加算	看護体制強化加算					
30%未満	0	0	0%	0	0%	0	0%				
30～40%未満	9	9	100%	9	100%	8	88.9%	0	0%		
40～60%未満	20	17	85.0%	18	90.0%	17	85.0%	0	0%		
60～80%未満	51	48	94.1%	47	92.2%	45	88.2%	5	9.8%		
80%以上	145	128	88.3%	125	86.2%	131	90.3%	120	82.8%	28	19.3%
計	225	202	89.8%	199	88.4%	206	91.6%	190	84.4%	33	14.7%

図4 看護職員とリハ職員の割合と、加算の届け出状況



8) 看護職員の年齢構成

訪問看護事業所看護職員の年齢構成は、22歳～82歳までが在籍し、平均年齢は、48.01歳で、前回調査より0.55歳高くなっている。

圏域別の平均年齢は、熱海・伊東が44.4歳と最も低く、最も高かったのは賀茂地区で54.8歳であった。

年代別の人数は、20歳代49人(3.2%)、30歳代223人(14.8%)、40歳代583人(38.6%)、50歳代472人(31.3%)、60歳代166人(11.0%)、70歳以上17人(1.1%)である。60歳以上が183人で、全体の12.1%であった。

年齢別では、47歳が85人(5.6%)と最も多く、次いで45歳が69人(4.6%)であった。

地区別の年代別従事者状況は、西部では40歳代・50歳代が最も多い。東部では他の地区に比べ20歳代と60歳代が多い。中部は、全年齢で少なく、中でも50歳代が特に少ない。

表13 看護職員の年代別従事者数 (n=1,510、単位：人)

	圏域	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計	平均年齢
東部	賀茂	1	0	7	10	9	1	28	54.8
	熱海・伊東	6	17	20	18	5	2	68	44.4
	駿東・田方	12	42	105	80	30	3	272	47.3
	富士	7	20	57	58	9	0	151	48.0
中部	静岡	9	44	137	112	23	6	331	47.9
	志太・榛原	3	16	37	32	15	1	104	51.9
西部	中東遠	1	16	56	50	15	3	141	49.3
	西部	10	68	164	112	60	1	415	48.2
合計		49	223	583	472	166	17	1,510	48.0

図5 看護職員の年代別従事者数

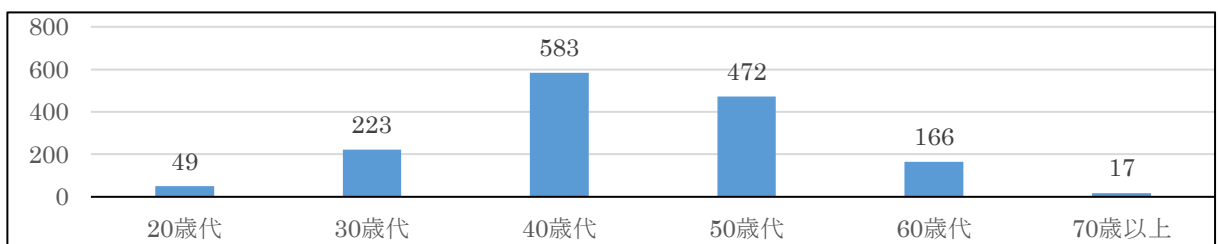
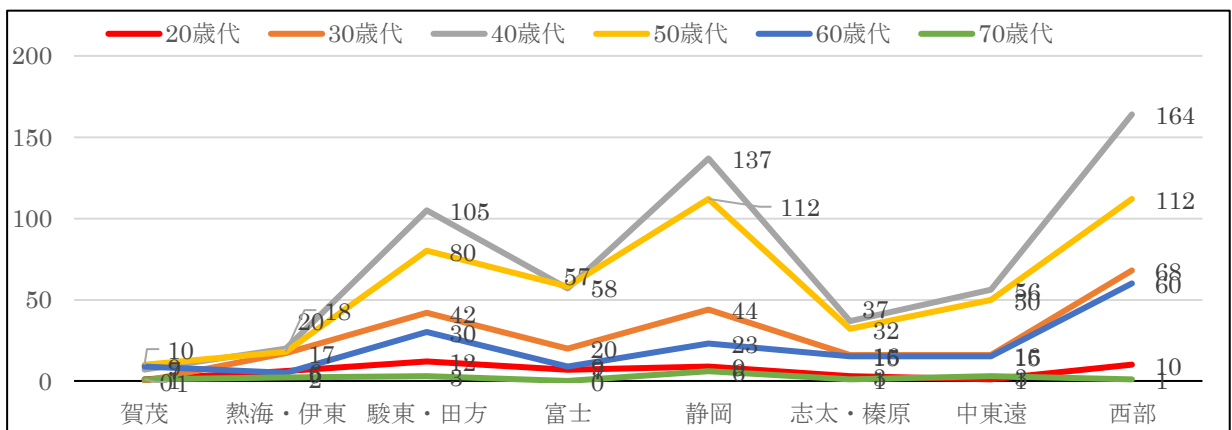


図6 地区別看護職員の年代別従事者数



9) 常勤換算数と利用者数

225 事業所職員全体の常勤換算数は 7.41 人で、うち看護職員の常勤換算数の平均は 5.25 人である。

「利用者数 100 人以上」の事業所の看護職員の常勤換算数の平均は 7.58 人である。「利用者数 100 人未満」の事業所の看護職員の常勤換算数の平均は 4.33 人である。

「利用者 100 人以上」の事業所の中には、看護職員の常勤換算が 2.5～3.0 人と少ないところもあるが、理学療法士・作業療法士等が常勤換算で 5 人以上在籍している。

表 14 利用者数別 (n=225)

利用者数	事業所数	割合
100 人以上	64	28.4%
100 人未満	161	71.6%
計	225	100%

表 15 全事業所常勤換算平均
(n=225)

職種	常勤換算数
保健師	0.08
助産師	0.01
看護師	4.92
准看護師	0.24
理学療法士	1.03
作業療法士	0.51
言語聴覚士	0.05
精神保健福祉士	0.01
事務職員	0.56
計	7.41

表 16 利用者 100 人以上事業所
常勤換算数の平均 (n=64)

職種	常勤換算数
保健師	0.08
助産師	0.02
看護師	7.40
准看護師	0.08
理学療法士	2.27
作業療法士	1.32
言語聴覚士	0.11
精神保健福祉士	0.02
事務職員	1.01
計	12.31

表 17 利用者 100 人未満の事業所
常勤換算数の平均 (n=161)

職種	常勤換算数
保健師	0.08
助産師	0.01
看護師	3.93
准看護師	0.31
理学療法士	0.53
作業療法士	0.19
言語聴覚士	0.02
精神保健福祉士	0.01
事務職員	0.38
計	5.46

1.0) 専門看護師・認定看護師の在籍状況

専門看護師はいないが、認定看護師は 22 か所の事業所に 28 名が在籍している。前回調査より 14 名増加している。

領域別では、「訪問看護認定看護師」が 13 名と最も多く、「皮膚・排泄ケア認定看護師」が 5 名、「緩和ケア認定看護師」が 3 名、「認知症看護認定看護師」「慢性心不全看護認定看護師」「がん性疼痛看護認定看護師」が各 1 名、「日本難病看護学会認定・難病看護師」2 名、「精神科認定看護師」2 名であった。

認定看護師が在籍する事業所の看護職員の常勤換算数は、ほとんどが 6 人以上であるが、2.5 人～3.0 人のところが 1 か所あった。

表 18 専門看護師・認定看護師数

資格	人数	資格	人数
訪問看護認定看護師	13	がん性疼痛看護認定看護師	1
皮膚・排泄ケア認定看護師	5	慢性心不全看護認定看護師	1
緩和ケア認定看護師	3	日本難病看護学会認定・難病看護師	2
認知症看護認定看護師	1	精神科認定看護師	2

1 1) 研修の受講状況について

内部研修は196か所(87.1%)が計画をしている。また、外部研修へは200か所(88.9%)が参加計画をしている。内部研修・外部研修のいずれも計画がないと回答した事業所が9か所(4.0%)あった。賀茂・熱海伊東・静岡・浜松の各医療圏域で2か所ずつ、駿東田方医療圏域で1か所あった。静岡医療圏域の1か所は、開設して1か月の事業所である。この事業所を除く8事業所の看護職員の常勤換算は、「2.5~3.0」が6か所、「3.5~4.0」が2か所である。

研修計画がない理由は、「退職で職員体制が整わなかった」「時間がとれない」「研修の希望がない」「向上心がない」であった。

外部への研修先として最も多かったのは、静岡県訪問看護ステーション協議会で175か所(87.5%)であった。次いで看護協会100か所(50.0%)、全国訪問看護事業協会9か所(4.5%)である。その他日本訪問看護財団、近隣の医療機関や医師会の研修会、日本精神科看護協会、市町開催の研修会等の参加計画である。

表 19 研修の受講状況 (n=225)

	内部研修		外部研修	
	数	割合	数	割合
ある	196	87.1%	200	88.9%
ない	29	12.9%	25	11.1%
計	225	100%	225	100%

図 7 研修の受講状況

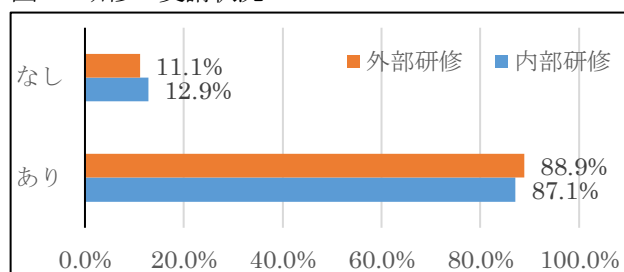
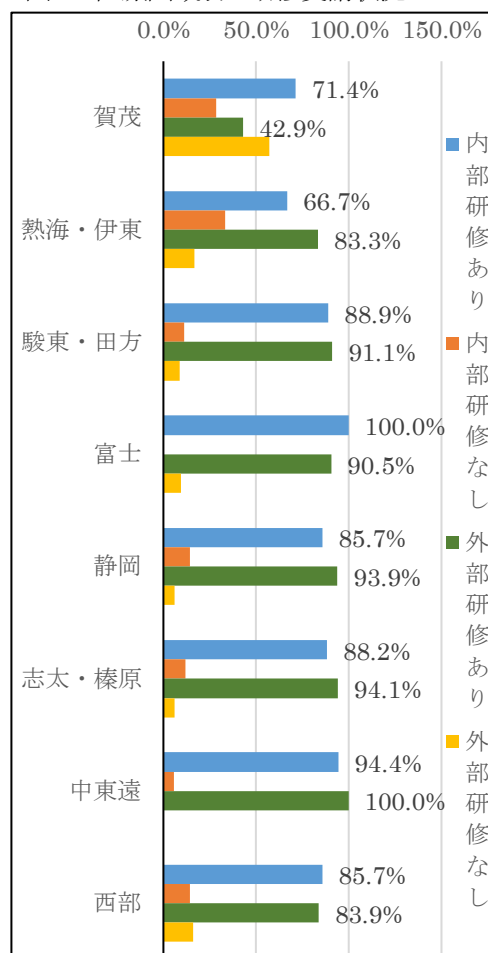


表 20 医療圏域別の研修受講状況 (n=225)

医療圏域(事業所数)			内部研修		外部研修	
			数	割合	数	割合
東部	賀茂 (7)	ある	5	71.4%	3	42.9%
		なし	2	28.6%	4	57.1%
	熱海・伊東 (12)	ある	8	66.7%	10	83.3%
		なし	4	33.3%	2	16.7%
	駿東・田方 (45)	ある	40	88.9%	41	91.1%
		なし	5	11.1%	4	8.9%
富士 (21)	ある	21	100%	19	90.5%	
中部	静岡 (49)	ある	42	85.7%	46	93.9%
		なし	7	14.3%	3	6.1%
	志太・榛原 (17)	ある	15	88.2%	16	94.1%
		なし	2	11.8%	1	5.9%
西部	中東遠 (18)	ある	17	94.4%	18	100%
		なし	1	5.6%	0	0%
	西部 (56)	ある	48	85.7%	47	83.9%
		なし	8	14.3%	9	16.1%

図 8 医療圏域別の研修受講状況



1 2) 看護学生実習の受け入れ状況について

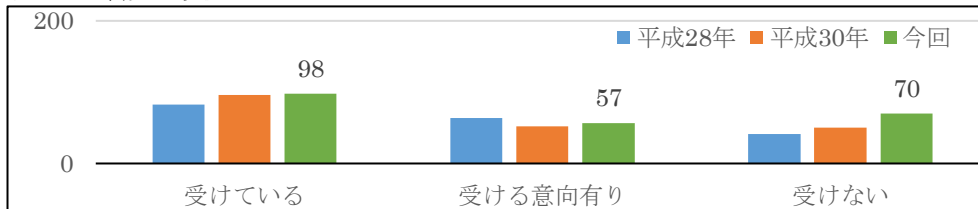
看護学生の実習については、98 か所 (43.6%) が受け入れをしている。現在実習を受けてはいないが、受ける意向がある事業所は 57 か所 (25.3%) であった。現在実習は受けていないし、今後も受ける意向はない事業所が 70 か所 (31.1%) である。

前回調査時より実習を受けている事業所は増えている一方、実習を受けない事業所も増えている。

表 21 実習の受け入れ状況 (n=198)

看護学生実習	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
受けている	98	43.6%	96	48.5%	83	44.2%
受けていないが、受ける意向あり	57	25.3%	52	26.3%	64	34.0%
受けていないし、受ける意向もない	70	31.1%	50	25.3%	41	21.8%
計	225	100%	198	100%	188	100%

図 9 実習受入状況



1 3) 収支状況について

平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月までの収支状況については、対象期間以降に新設された事業所を除く 219 か所の内、赤字は 60 か所 (27.4%)、黒字は 126 か所 (57.5%)、不明が 33 か所 (15.1%) であった。

今後の事業運営については、219 か所の内、事業所拡大が 52 か所 (23.7%)、現状維持が 165 か所 (75.3%)、縮小が 2 か所 (0.9%) であった。赤字であっても 17 か所は事業拡大を目指している。縮小とした事業所の収支状況は、黒字・赤字が各 1 か所であった。

赤字事業所の設置後の経過年数は 10 年以上が最も多く、利用者数は 50 人～100 人未満が最も多かった。平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月までに新規開設した事業所 13 か所の内 10 か所は赤字である。

表 22 収支状況 (n=219)

収支	今回		第5回 (H30.4)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
赤字	60	27.4%	57	29.8%	58	31.7%
黒字	126	57.5%	101	52.9%	92	50.3%
不明	33	15.1%	33	17.3%	33	18.0%
計	219	100%	191	100%	183	100%

表 23 赤字事業所の設置後の経過年数 (n=60)

経過年数	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
1年未満	10	16.7%	15	26.3%	13	22.4%
1~2年未満	9	15.0%	1	1.8%	11	19.0%
2~3年未満	6	10.0%	6	10.5%	8	14.0%
3~4年未満	3	5.0%	3	5.3%	4	6.9%
4~5年未満	8	13.3%	6	10.5%	0	0%
5~10年未満	10	16.7%	6	10.5%	5	8.6%
10年以上	14	23.3%	20	35.1%	17	29.3%
計	60	100%	57	100%	58	100%

図 10 収支状況

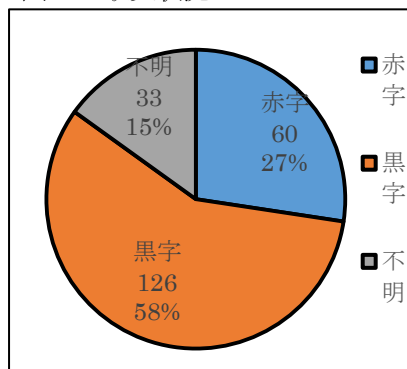


図 11 赤字事業所の設置経過年数別

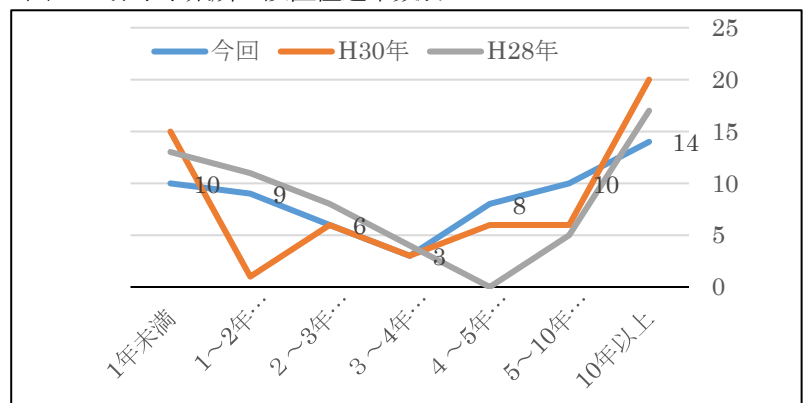


表 24 赤字事業所の利用者数 (n=60)

利用者数	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
10人未満	4	6.7%	6	10.5%	8	13.8%
10人~20人未満	4	6.7%	4	7.0%	8	13.8%
20人~30人未満	11	18.3%	11	19.3%	9	15.5%
30人~40人未満	4	6.7%	8	14.0%	5	8.6%
40人~50人未満	5	8.3%	5	8.8%	4	6.9%
50人~100人未満	23	38.3%	16	28.1%	22	37.9%
100人以上	9	15.0%	7	12.3%	2	3.5%
計	60	100%	57	100%	58	100%

図 12 赤字事業所の利用者数

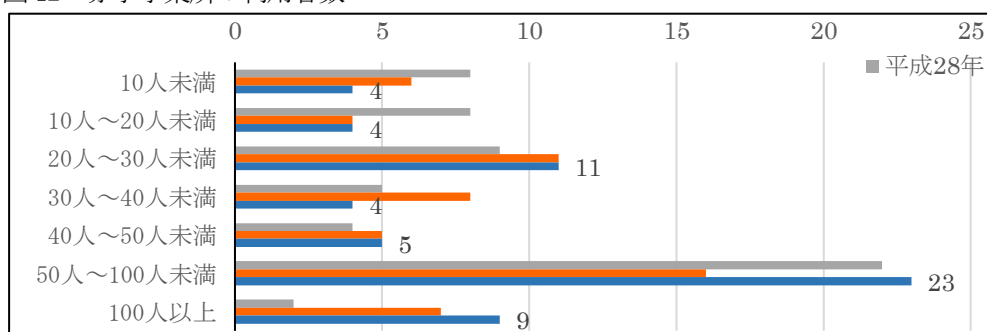


表 25 赤字事業所の看護職員の常勤換算数 (n=60)

常勤換算(人)	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
2.5~2.9	15	25.0%	18	31.6%	21	36.2%
3.0~3.9	14	23.3%	17	29.8%	17	29.3%
4.0~4.9	11	18.3%	12	21.1%	9	15.5%
5.0~5.9	6	10.0%	3	5.3%	6	10.3%
6.0~6.9	4	6.7%	1	1.8%	1	1.7%
7.0~9.9	9	15.0%	4	7.0%	2	3.5%
10.0~14.9	1	1.7%	2	3.5%	2	3.5%
15.0人以上	0	0%	0	0%	0	0%
計	60	100%	57	100%	58	100%

図 13 赤字事業所看護職員の常勤換算数

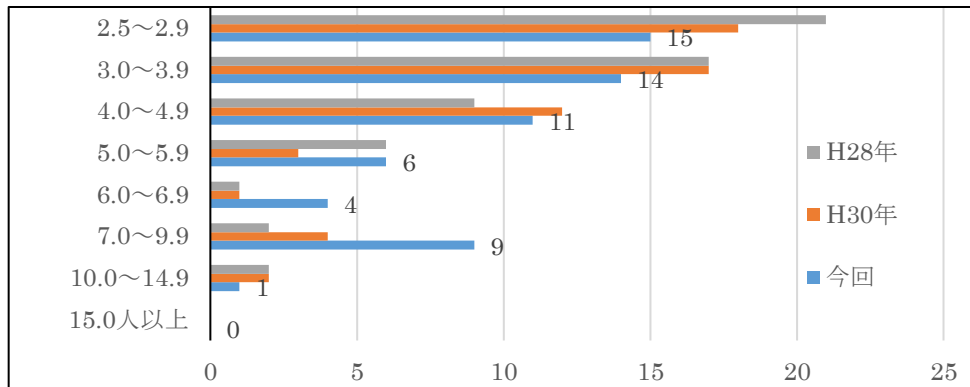
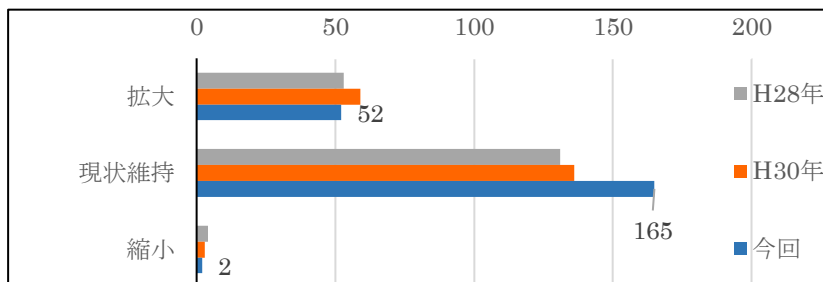


表 26 今後の事業の運営 (n=219)

	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
拡大	52	23.7%	59	29.8%	53	31.7%
現状維持	165	75.3%	136	68.7%	131	50.3%
縮小	2	0.9%	3	1.5%	4	18.0%
計	219	100%	198	100%	188	100%

図 14 今後の運営



2. 利用者の状況（令和2年6月1日～6月30日の1か月）

1) 利用者の年齢・性別

令和2年6月の1か月間の訪問看護利用者総数は、19,030人で前回調査より3,162人増加している。男女比率は、男性8,440人（44.4%）、女性10,590人（55.6%）で、前回調査とほぼ同じ割合である。0～15歳までと、40～74歳までは男性利用者が若干多いが、75歳以上では圧倒的に女性の利用者が多い。年齢別では、75歳～99歳が12,799人で最も多く、訪問看護利用者全体の67.3%を占めている。

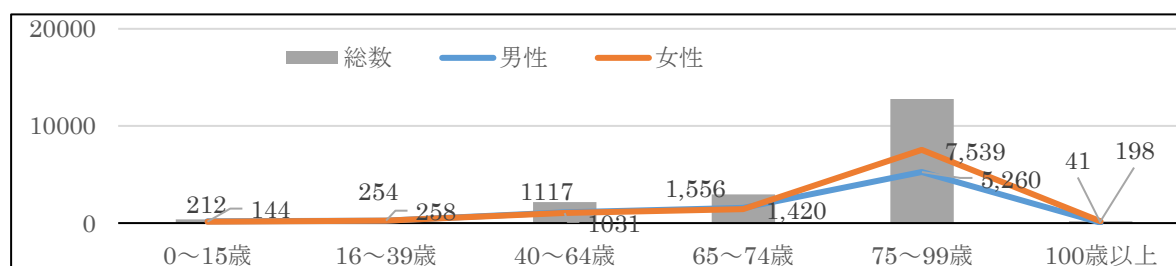
表27 利用者の年齢別・性別人数

	男性	女性	利用者総数		第5回（H30.6）	
	人数	人数	人数	割合	人数	割合
0～15歳	212	144	356	1.9%	304	1.9%
16～39歳	254	258	512	2.7%	398	2.5%
40～64歳	1,117	1,031	2,148	11.3%	1,768	11.1%
65～74歳	1,556	1,420	2,976	15.6%	2,545	16.0%
75～99歳	5,260	7,539	12,799	67.3%	10,660	67.2%
100歳以上	41	198	239	1.3%	193	1.2%
計	8,440	10,590	19,030	100%	15,868	100%

表27-2 過去の利用者の年齢・性別人数（平成22年～平成28年）

年齢	第4回（H28.6）		第3回（H26.6）		第2回（H24.9）		第1回（H22.9）	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～15歳	223	1.6%	188	1.6%	150	1.5%	102	1.1%
16～39歳	282	2.1%	238	2.0%	172	1.7%	157	1.8%
40～64歳	492	10.9%	1,315	11.1%	1,050	10.6%	978	11.0%
65～74歳	2,215	16.3%	2,031	17.1%	1,684	16.9%	1,599	18.0%
75～89歳	9,244	67.9%	6,000	50.5%	5,148	51.8%	4,558	51.2%
90歳以上	160	1.2%	2,098	17.7%	1,745	17.5%	1,500	16.9%
計	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

図15 利用者の年齢別・性別人数



2) 保険別の利用者数・訪問回数

介護保険・医療保険の利用者数・利用回数は、共に前回調査より増えている。

保険別の利用者数は、介護保険が13,547人(71.2%)、医療保険が5,337人(28.0%)であった。保険別の訪問回数は、介護保険80,983回(65.1%)、医療保険42,858回(34.4%)であった。

介護保険と医療保険の利用者数・利用回数の割合は、調査の度に医療保険の割合が増えてきている。

表 28 保険別利用者数 (人数)

保険別	利用者数		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合
介護保険	13,547	71.2%	11,648	73.4%
医療保険	5,337	28.0%	4,073	25.7%
その他	146	0.8%	147	0.9%
計	19,030	100%	15,868	100%

図 16 保険別利用者数

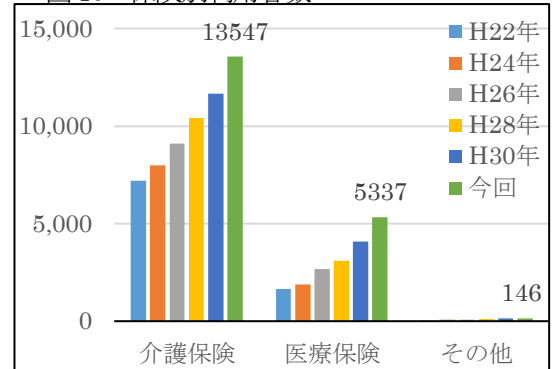


表 28-2 過去の保険別利用者数 (平成 22 年～平成 28 年)

保険別	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
介護保険	10,404	76.4%	9,107	76.7%	7,987	80.3%	7,206	81.0%
医療保険	3,107	22.8%	2,670	22.5%	1,879	18.9%	1,656	18.6%
その他	105	0.8%	93	0.8%	83	0.8%	32	0.4%
計	13,616	100%	11,870	100%	9,949	100%	8,894	100%

表 29 保険別訪問回数 (回数)

保険別	訪問回数		第5回 (H30.6)	
	回数	割合	回数	割合
介護保険	80,983	65.1%	69,843	70.3%
医療保険	42,858	34.4%	28,820	29.0%
その他	622	0.5%	653	0.7%
計	124,463	100%	99,316	100%

図 17 保険別訪問回数

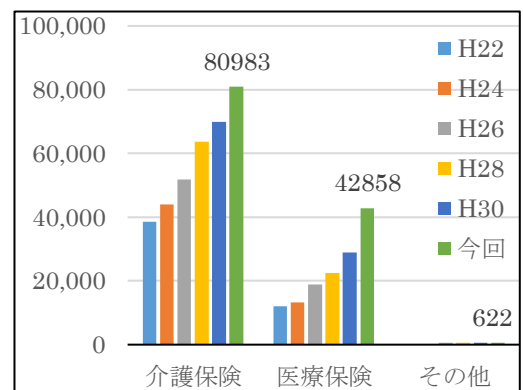


表 29-2 過去の保険別訪問回数 (平成 22 年～平成 28 年)

保険別	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
介護保険	63,714	73.4%	51,801	72.7%	44,054	76.5%	38,548	76.1%
医療保険	22,454	25.9%	18,849	26.5%	13,282	23.0%	11,975	23.6%
その他	591	0.7%	547	0.8%	290	0.5%	134	0.3%
計	86,759	100%	71,197	100%	57,626	100%	50,657	100%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険の利用者を介護度別で見ると、前回の調査同様、要介護1が3,128人(23.1%)と最も多く、次いで要介護2が2,836人(20.9%)であった。要介護3～5の利用者は微増である。要介護5は、訪問者数・回数共に割合は減少している。

表30 介護保険の介護度別利用者数

介護度	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	2,228	16.4%	1,792	15.4%	1,388	13.3%	1,039	11.4%	681	8.5%	552	7.8%
要介護1	3,128	23.1%	2,604	22.4%	2,067	19.9%	1,635	18.0%	1,213	15.2%	911	12.8%
要介護2	2,836	20.9%	2,340	20.1%	2,064	19.8%	1,691	18.6%	1,436	18.0%	1,176	16.5%
要介護3	1,822	13.4%	1,570	13.5%	1,511	14.5%	1,352	14.8%	1,260	15.8%	1,154	16.2%
要介護4	1,844	13.6%	1,771	15.2%	1,673	16.1%	1,595	17.5%	1,478	18.5%	1,456	20.4%
要介護5	1,689	12.5%	1,571	13.5%	1,701	16.4%	1,795	19.7%	1,919	24.0%	1,875	26.3%
計	13,547	100%	11,648	100%	10,404	100%	9,107	100%	7,987	100%	7,124	100%

図18 介護度別利用者数

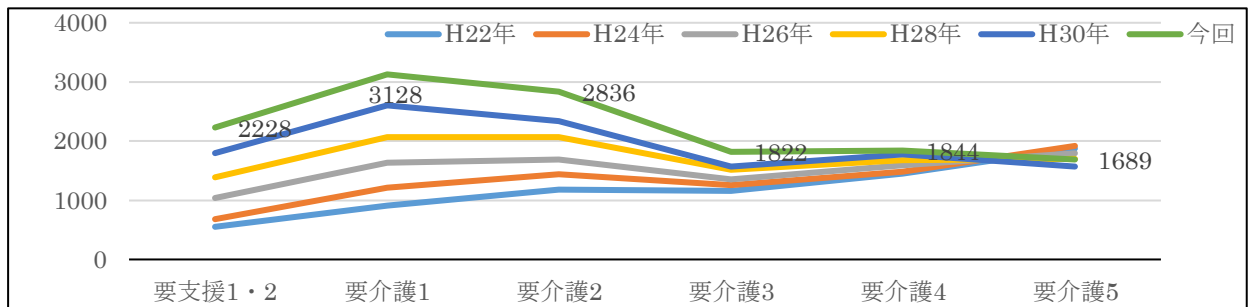
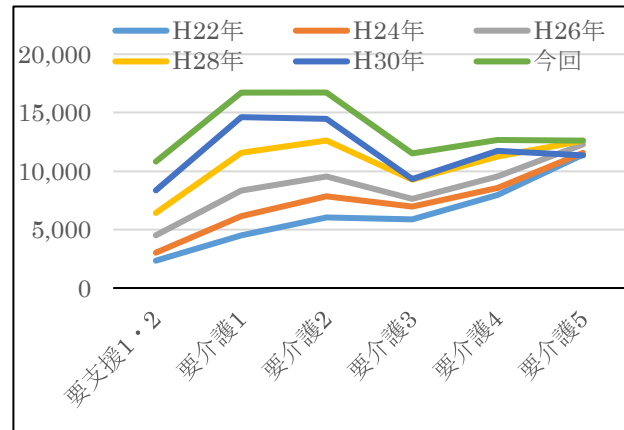


表30-2 介護保険の介護度別訪問回数

介護度	今回		第5回(H30.6)	
	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	10,812	13.4%	8,353	12.0%
要介護1	16,693	20.6%	14,616	20.9%
要介護2	16,722	20.6%	14,466	20.7%
要介護3	11,503	14.2%	9,326	13.4%
要介護4	12,649	15.6%	11,759	16.8%
要介護5	12,604	15.6%	11,323	16.2%
計	80,983	100%	69,843	100%

図19 介護別訪問回数



介護度	第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援1・2	6,421	10.1%	4,506	8.7%	3,024	6.9%	2,340	6.2%
要介護1	11,577	18.2%	8,316	16.1%	6,123	13.9%	4,505	11.8%
要介護2	12,620	19.8%	9,521	18.4%	7,816	17.7%	6,037	15.8%
要介護3	9,284	14.6%	7,608	14.7%	6,949	15.8%	5,879	15.4%
要介護4	11,214	17.6%	9,545	18.4%	8,582	19.5%	7,931	20.8%
要介護5	12,598	19.8%	12,286	23.7%	11,560	26.2%	11,409	30.0%
計	63,714	100%	51,782	100%	44,054	100%	38,101	100%

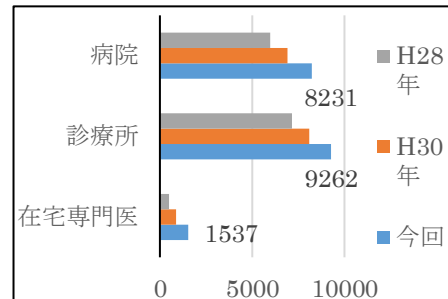
4) 訪問看護指示書の発行元

令和2年6月に訪問した利用者の訪問看護指示書の発行元は、病院が8,231人(43.3%)、診療所が9,262人(48.7%)、在宅専門医が1,537人(8.1%)で、前回調査とほぼ同じ割合であるが、在宅専門医からの指示書が増加している。

表31 訪問看護指示書発行元

発行元	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病院	8,231	43.3%	6,914	43.6%	5,953	43.7%
診療所	9,262	48.7%	8,079	50.9%	7,163	52.6%
在宅専門医	1,537	8.1%	875	5.5%	500	3.7%
計	19,030	100%	15,868	100%	13,616	100%

図20 訪問看護指示書発行元



5) 令和2年6月、1か月間の新規利用者について

新規利用者数は、1,271人であった。新規利用者が0の事業所は13か所(5.8%)であった。25件以上の事業所が1か所あった。

依頼の紹介先は、居宅介護支援事業所が700人(55.1%)で最も多い。次いで病院からの紹介が343人(27.0%)、診療所からの紹介は104人(8.2%)であった。地域包括支援センターからの紹介が52人(4.1%)利用者・家族からの紹介が21人(1.7%)等であった。

表32 新規利用者数 (n=225)

利用者数	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	13	5.8%	14	7.1%	21	11.1%
1~2	45	20.0%	41	20.7%	46	24.5%
3~4	47	20.9%	55	27.8%	38	20.2%
5~6	42	18.7%	33	16.7%	29	15.4%
7~8	33	14.7%	18	9.1%	26	13.8%
9~10	16	7.1%	13	6.6%	17	9.0%
11~12	10	4.4%	11	5.6%	6	3.2%
13~15	15	6.7%	7	3.5%	1	0.5%
16~20	2	0.9%	4	2.0%	2	1.1%
21~24	1	0.4%	1	0.5%	0	0%
25~26	1	0.4%	0	0%	0	0%
30~32	0	0%	0	0%	2	1.1%
33~39	0	0%	1	0.5%	0	0%
計	225	100%	198	100%	188	100%

図21 新規利用者数

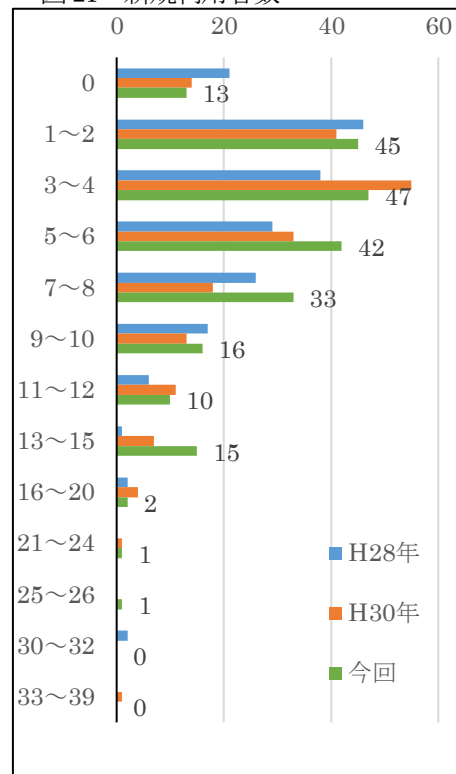
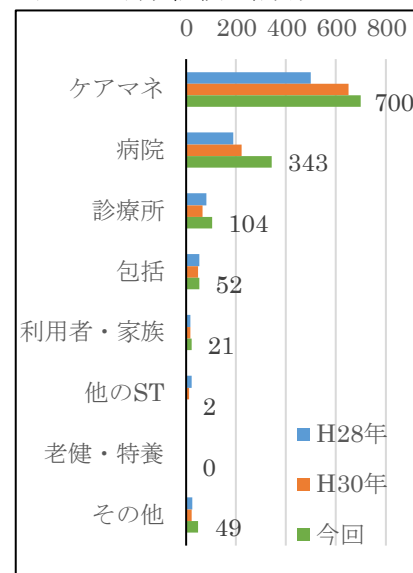


表 33 新規依頼の紹介先

紹介先	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
居宅介護支援事業所	700	55.1%	650	62.9%	500	56.1%
病院	343	27.0%	221	21.4%	190	21.3%
診療所	104	8.2%	65	6.3%	82	9.3%
地域包括支援センター	52	4.1%	49	4.7%	53	5.9%
利用者・家族	21	1.7%	16	1.6%	18	2.0%
他のステーション	2	0.2%	12	1.2%	21	2.4%
老健・特養	0	0%	0	0%	2	0.2%
その他	49	3.9%	21	2.0%	25	2.8%
計	1,271	100%	1,034	100%	891	100%

図 22 新規依頼の紹介先



6) 令和2年6月で終了した利用者数

令和2年6月で終了した利用者数は、815人であった。15～20人終了した事業所が4か所(1.8%)あった。終了した利用者数が0の事業所は39か所(17.3%)であった。

7) 在宅での看取り数

令和元年度中の在宅での看取り数は、2,632件であった。

令和2年4月以降に新設された6か所の事業所を除く219か所の事業所の内、看取りを行った事業所は、187か所(85.4%)であった。看取り数1～5件の事業所が63か所に増加、21～30件も29か所に増加している。100件を超える事業所が2か所あった。

看取り0の事業所は32か所(14.6%)で、前回調査より増加している。32か所の内の10か所は精神に特化した事業所である。

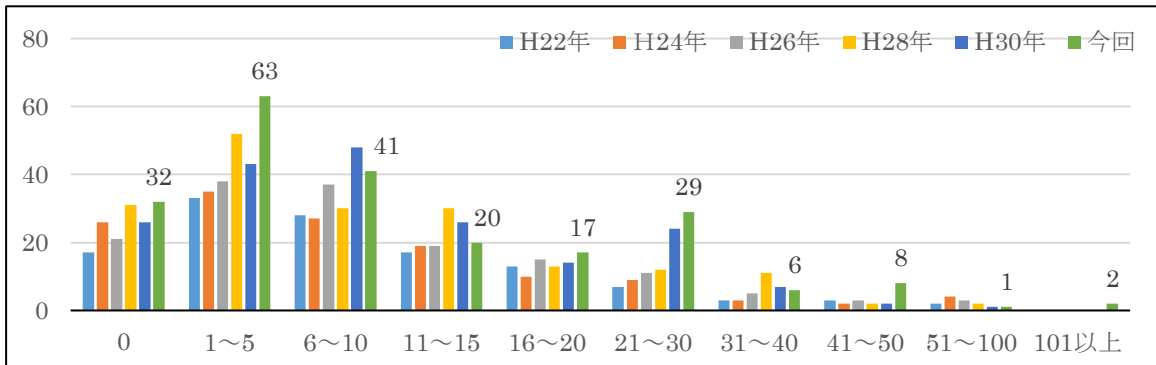
表 34 看取り数 (n=219)

看取り数	今回		第5回(H30.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合
0	32	14.6%	26	13.6%
1～5	63	28.8%	43	22.5%
6～10	41	18.7%	48	25.1%
11～15	20	9.1%	26	13.6%
16～20	17	7.8%	14	7.3%
21～30	29	13.2%	24	12.6%
31～40	6	2.7%	7	3.7%
41～50	8	3.7%	2	1.1%
51～100	1	0.5%	1	0.5%
101以上	2	0.9%	0	0%
計	219	100%	191	100%

表 34-2 過去の看取り数の推移（平成 22 年～平成 28 年）

看取り数	第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
0	31	16.9%	21	13.8%	26	19.3%	17	13.8%
1～5	52	28.4%	38	25.0%	35	25.9%	33	26.9%
6～10	30	16.4%	37	24.3%	27	20.0%	28	22.8%
11～15	30	16.4%	19	12.5%	19	14.1%	17	13.8%
16～20	13	7.1%	15	9.9%	10	7.4%	13	10.6%
21～30	12	6.6%	11	7.2%	9	6.6%	7	5.7%
31～40	11	6.0%	5	3.3%	3	2.2%	3	2.4%
41～50	2	1.1%	3	2.0%	2	1.5%	3	2.4%
51 以上	2	1.1%	3	2.0%	4	3.0%	2	1.6%
計	183	100%	152	100%	135	100%	123	100%

図 23 看取り数



i) 事業所規模別の看取りの状況

100 件以上の看取りを行っている事業所の看護職員の常勤換算数は、5.5 人が 1 か所と 20 人以上が 1 か所であった。

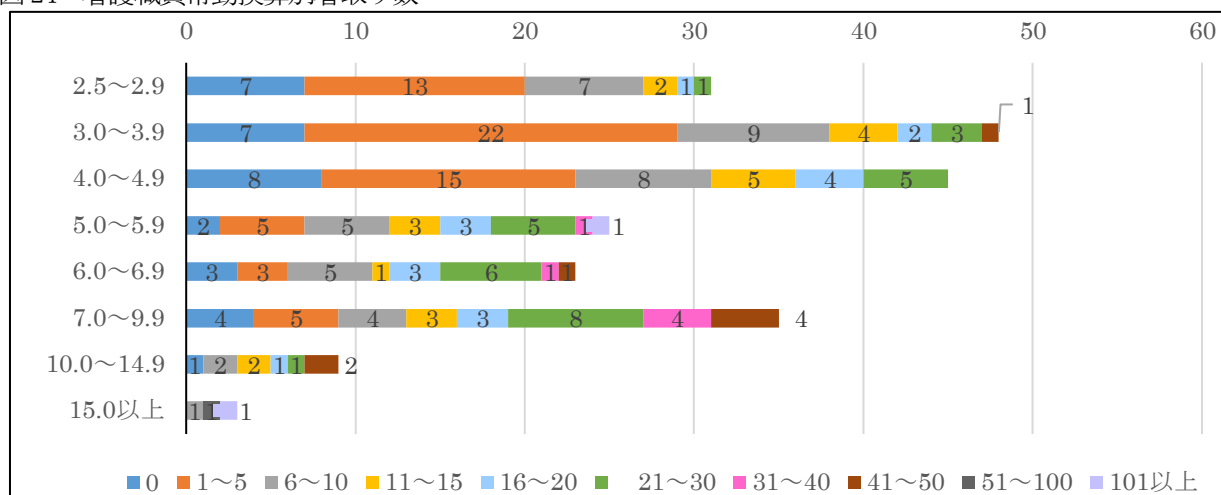
常勤換算 2.8 人で 22 件の看取りを行っている事業所が 1 か所、3.0 人で 41 件以上の看取りを行っている事業所が 1 か所あった。

常勤換算 5 人以上で看取り 0 の事業所 10 か所のうち、4 か所は精神に特化した事業所である。

表 35 看護職員常勤換算別看取り数 (n=219)

常勤換算	看取り数 (令和元年度中)										計
	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～30	31～40	41～50	51～99	100 以上	
2.5～2.9	7	13	7	2	1	1	0	0	0	0	31
3.0～3.9	7	22	9	4	2	3	0	1	0	0	48
4.0～4.9	8	15	8	5	4	5	0	0	0	0	45
5.0～5.9	2	5	5	3	3	5	1	0	0	1	25
6.0～6.9	3	3	5	1	3	6	1	1	0	0	23
7.0～9.9	4	5	4	3	3	8	4	4	0	0	35
10.0～14.9	1	0	2	2	1	1	0	2	0	0	9
15.0 以上	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3
計	32	63	41	20	17	29	6	8	1	2	219

図 24 看護職員常勤換算別看取り数



ii) 地区別の看取りの状況

看取り数を地区別で見ると、東部は769件で前回調査より98件増加している。中部は1,212件で前回調査より432件の増加で、地区別では最も多い。西部は651件で前回より8件の増加であった。

医療圏別の看取りの状況は、静岡医療圏が最も多く、796件(30.2%)であった。次いで多いのは志太・榛原医療圏で、416件(15.8%)であった。

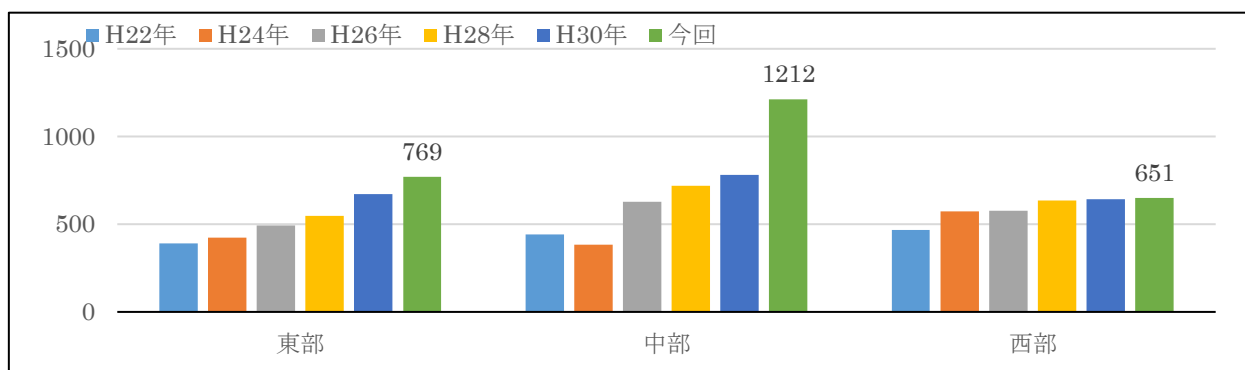
表 36 医療圏域・地区別看取り数 (n=219)

医療圏域(事業所数)		看取り数		計	
		数	割合	数	割合
東部 (82)	賀茂 (7)	26	1.0%	769	29.2%
	熱海・伊東 (12)	153	5.8%		
	駿東・田方 (43)	380	14.4%		
	富士 (20)	210	8.0%		
中部 (65)	静岡 (48)	796	30.2%	1,212	46.0%
	志太・榛原 (17)	416	15.8%		
西部 (72)	中東遠 (16)	329	12.5%	651	24.7%
	西部 (56)	322	12.2%		
計		2,632	100%	2,632	100%

表 36-2 過去の地区別看取り数の推移 (平成 22 年～平成 30 年)

地区	第 5 回 (H30. 6)		第 4 回 (H28. 6)		第 3 回 (H26. 6)		第 2 回 (H24. 9)		第 1 回 (H22. 9)	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
東部	671	32.0%	546	28.7%	494	29.1%	425	30.8%	390	30.0%
中部	780	37.3%	720	37.9%	629	37.0%	383	27.7%	443	34.1%
西部	643	30.7%	635	33.4%	576	33.9%	574	41.5%	466	35.9%
計	2,094	100%	1,901	100%	1,699	100%	1,382	100%	1,299	100%

図 25 地区別看取り数



iii) 在宅看取りの場所

在宅看取りの場所は、自宅が最も多く 2,390 件 (90.8%) であった。次いで有料老人ホームが 79 件 (3.0%) と前回調査より倍増している。グループホーム 77 件 (2.9%)、サービス付き高齢者専用住宅 63 件 (2.4%)、看護小規模多機能居宅介護は 10 件 (0.38%) の看取りがあった。

表 37 在宅看取りの場所別

看取り場所	今回		第 5 回 (H30.6)		第 4 回 (H28.6)	
	看取り数	割合	看取り数	割合	看取り数	割合
自宅	2,390	90.8%	1,938	92.55%	1,815	95.48%
グループホーム	77	2.9%	50	2.39%	40	2.1%
サービス付き高齢者専用住宅	63	2.4%	44	2.1%	24	1.26%
有料老人ホーム	79	3.0%	36	1.72%	22	1.16%
看護小規模多機能居宅介護	10	0.38%	12	0.57%		
小規模多機能居宅介護	9	0.34%	11	0.53%		
特別養護老人ホーム	3	0.11%	2	0.1%		
軽費老人ホーム	1	0.04%	1	0.05%		
計	2,632	100%	2,094	100%	1,901	100%

8) 医療処置の実施状況

全事業所が実施している医療処置は、これまでの調査同様、服薬だけである。

点滴・静脈注射・持続皮下注射、中心静脈栄養、ストーマケア、在宅酸素療法、気管カニューレ、吸入・吸引、褥瘡処置、ペインコントロール、留置カテーテルに対応する事業所は9割を超えている。人工呼吸器に対応する事業所は前回調査より13か所増え181か所(80.4%)に留まっている。在宅自己腹膜灌流に対応する事業所は依然少なく、前回調査より4か所減り140か所(62.2%)であった。

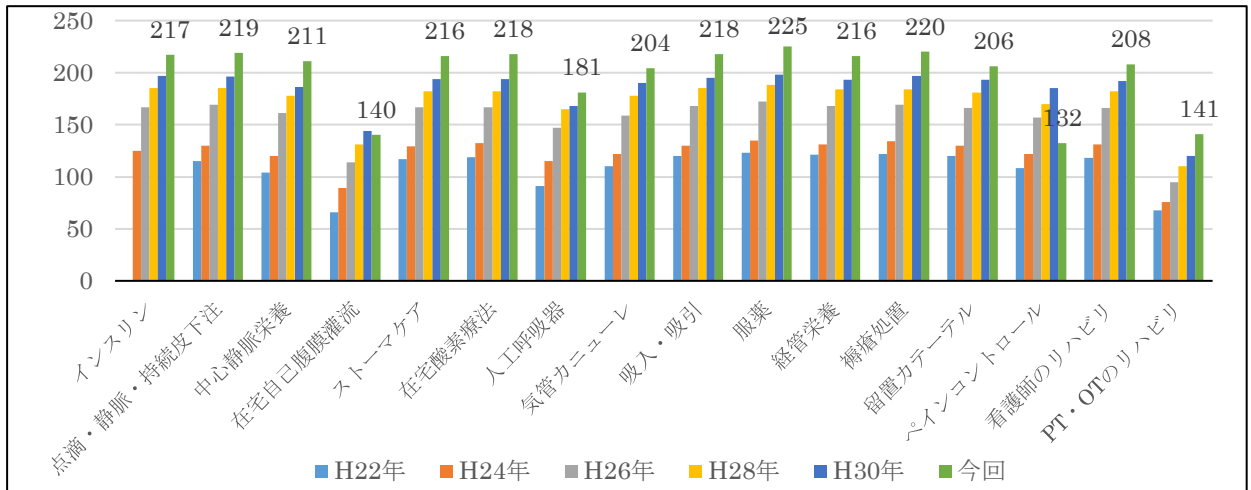
表 38 医療処置の実施状況 (n=225)

処置の種類	今回		第5回 (H30.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	217	96.4%	197	99.5%
点滴・静脈・持続皮下注射	219	97.3%	196	99.0%
中心静脈栄養	211	93.8%	186	94.0%
在宅自己腹膜灌流	140	62.2%	144	72.7%
ストーマケア	216	96.0%	194	98.0%
在宅酸素療法	218	96.9%	194	98.0%
人工呼吸器	181	80.4%	168	84.9%
気管カニューレ	204	90.7%	190	96.0%
吸入・吸引	218	96.9%	195	98.5%
服薬	225	100%	198	100%
経管栄養	216	96.0%	193	97.5%
褥瘡処置	220	97.8%	197	99.5%
留置カテーテル (膀胱内・瘻、胃瘻)	206	91.6%	193	97.5%
ペインコントロール	132	58.7%	185	93.4%
在宅リハビリ (看護師)	208	92.4%	192	97.0%
(PT・OT)	141	62.7%	120	60.6%

表 38-2 過去の医療処置の実施状況の推移 (平成22年～平成28年)

処置の種類	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
インスリン	185	98.4%	167	97.1%	125	96.2%		
点滴・静脈・持続皮下注射	185	98.4%	169	98.3%	130	96.3%	115	95.3%
中心静脈栄養	178	94.7%	161	93.6%	120	88.9%	104	84.6%
在宅自己腹膜灌流	131	69.7%	114	66.3%	89	65.9%	66	53.7%
ストーマケア	182	96.8%	167	97.1%	129	95.6%	117	95.1%
在宅酸素療法	182	96.8%	167	97.1%	132	97.8%	119	96.8%
人工呼吸器	165	87.8%	147	85.5%	115	85.2%	91	74.0%
気管カニューレ	178	94.7%	159	92.4%	122	90.4%	110	89.4%
吸入・吸引	185	98.4%	168	97.7%	130	96.3%	120	97.6%
服薬	188	100%	172	100%	135	100%	123	100%
経管栄養	184	97.9%	168	97.7%	131	97.0%	121	98.4%
褥瘡処置	184	97.9%	169	98.3%	134	99.3%	122	99.2%
留置カテーテル (膀胱内・瘻、胃瘻)	181	96.3%	166	96.5%	130	96.3%	120	97.6%
ペインコントロール	170	90.4%	157	91.3%	122	90.4%	108	87.8%
在宅リハビリ (看護師)	182	96.8%	166	96.5%	131	97.0%	118	95.9%
(PT・OT)	110	58.5%	95	55.2%	76	56.3%	68	55.3%

図 26 医療処置の実施状況



3. 対象者別対応状況

対象者別対応状況は、難病と悪性新生物に対してはほとんどの事業所が対応している。

小児に対しては、これまでの調査の度に少しずつではあるが増加していたが、今回の調査では 149 か所 (66.2%) で 20 か所増加している。

精神については、139 か所 (61.8%) が対応し、前回調査より 13 か所増加している。

表 39 対象者別対応状況 (n=225)

対象	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
小児	149	66.2%	129	65.2%	130	69.2%	125	72.7%	88	65.2%	73	59.4%
難病	211	93.8%	187	94.4%	180	95.7%	163	94.8%	130	96.3%	115	93.5%
悪性新生物	214	95.1%	188	95.0%	181	96.3%	165	95.9%	129	95.6%	119	96.8%
精神	139	61.8%	126	63.6%	106	56.4%	102	59.3%	86	63.7%	73	59.4%

図 27 対象者別対応状況

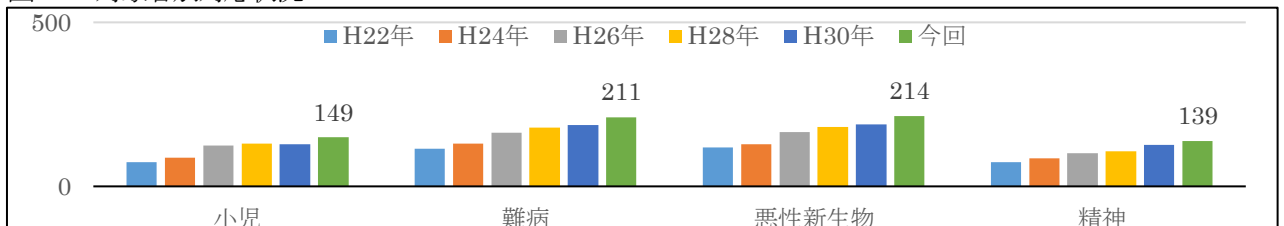


表 40 小児 年齢別訪問利用者数

年齢	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1歳未満	52	11.2%	40	10.3%	29	10.5%	49	14.1%	71	21.1%	20	14.8%
1~6歳	216	46.5%	173	44.5%	137	49.6%	131	37.9%	173	51.5%	68	50.4%
6~15歳	152	32.7%	139	35.7%	88	31.9%	69	20.0%	74	22.0%	37	27.4%
16歳以上	45	9.7%	37	9.5%	22	8.0%	97	28.0%	18	5.4%	10	7.4%
計	465	100%	389	100%	276	100%	346	100%	336	100%	135	100%

図 28 小児 年齢別訪問利用者数

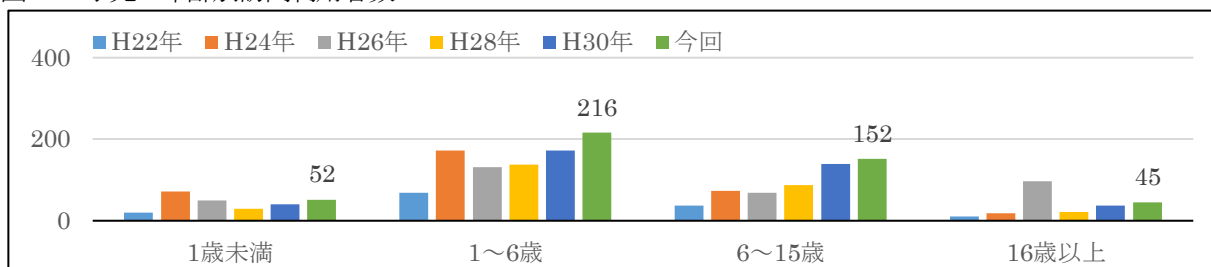


表 41 難病 年齢別利用者数

年齢	今回		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合
1~15歳	151	7.4%	104	5.7%
16~39歳	68	3.3%	74	4.1%
40~64歳	315	15.5%	347	19.1%
65~74歳	561	27.6%	485	26.8%
75~99歳	940	46.2%	800	44.1%
100歳以上	0	0%	3	0.2%
計	2,035	100%	1,813	100%

図 29 難病 年齢別利用者数

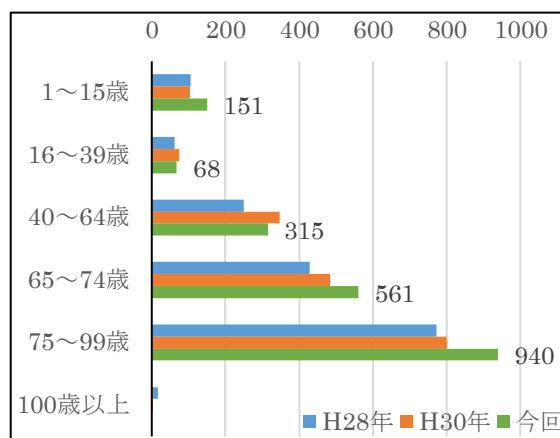


表 41-2 難病 年齢別利用者数 (第1回~第4回)

年齢	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1~15歳	105	6.43%	44	1.1%	133	2.5%	13	1.1%
16~39歳	62	3.79%	125	3.0%	45	0.9%	45	3.7%
40~64歳	249	15.24%	569	13.7%	900	17.0%	104	8.6%
65~74歳	428	26.19%	1,703	40.9%	1,658	31.4%	274	22.6%
75~89歳	773	47.31%	1,652	39.6%	2,525	47.8%	748	61.8%
90歳以上	17	1.04%	73	1.7%	24	0.4%	26	2.2%
計	1,634	100%	4,166	100%	5,285	100%	1,210	100%

表 42 悪性新生物 年齢別利用者数

年齢	今回		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合
1~15歳	3	0.1%	5	0.2%
16~39歳	21	0.6%	12	0.4%
40~64歳	379	10.3%	331	10.8%
65~74歳	844	22.9%	711	23.2%
75~99歳	2,426	65.9%	2,002	65.3%
100歳以上	9	0.2%	6	0.2%
計	3,682	100%	3,067	100%

図 30 悪性新生物 年齢別利用者数

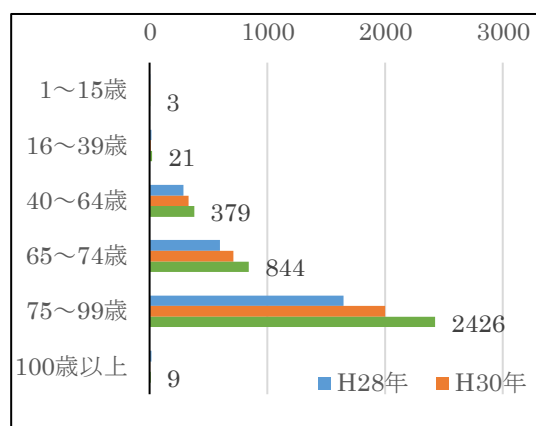


表 42-2 悪性新生物 年齢別利用者数 (第1回～第4回)

年齢	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1～15歳	3	0.1%	5	0.2%	0	0%	0	0%
16～39歳	13	0.5%	10	0.3%	282	8.1%	4	0.2%
40～64歳	288	11.3%	478	15.9%	439	12.7%	161	9.7%
65～74歳	595	23.3%	629	21.0%	932	26.9%	404	24.4%
75～89歳	1,645	64.3%	1,639	54.6%	1,472	42.5%	888	53.5%
90歳以上	13	0.5%	241	8.0%	339	9.8%	203	12.2%
計	2,557	100%	3,002	100%	5,285	100%	1,660	100%

表 43 精神科 年齢別利用者数

年齢	今回		第5回 (H30.6)	
	人数	割合	人数	割合
15～39歳	246	14.7%	70	11.1%
40～64歳	857	51.2%	400	63.5%
65～74歳	311	18.6%	107	17.0%
75～99歳	226	13.5%	53	8.4%
100歳以上	35	2.1%	0	0.0%
計	1,675	100%	630	100%

図 31 精神科 年齢別利用者数

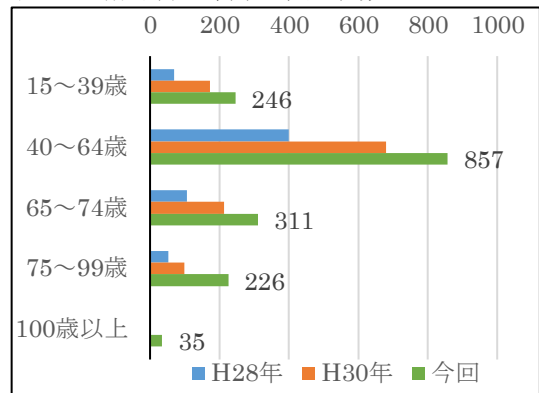


表 43-2 精神科 年齢別利用者数 (第1回～第4回)

年齢	第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
16～39歳	70	11.1%	78	11.7%	102	11.2%	38	12.2%
40～64歳	400	63.5%	307	46.1%	495	54.2%	148	47.6%
65～74歳	107	17.0%	140	21.0%	210	23.0%	49	15.8%
75～89歳	53	8.4%	104	15.6%	97	10.6%	60	19.3%
90歳以上	0	0.0%	37	5.6%	9	1.0%	16	5.1%
計	630	100%	666	100%	913	100%	311	100%

4. 令和元年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業・求人状況

1) 新規就業者数（令和元年度中）

令和2年4月以降に新設された6か所の事業所を除く219か所の事業所の、令和元年度中の新規就業者数は、常勤235人（58.9%）、非常勤164人（41.1%）で、前回調査より常勤の就業者が増加している。

就業者の看護職としての経験年数は、これまでの調査同様、常勤・非常勤共に10年以上が最も多く、常勤・非常勤合わせて271人（67.9%）である。

就業前の職場は、常勤・非常勤共に病院・診療所が最も多く、241人（60.4%）である。無職だった人は、常勤は0人、非常勤で19人（11.6%）であった。

就業につながった募集方法は、常勤・非常勤共に「紹介」は129人（32.3%）であった。「その他」は、法人内の勤務異動や本人から直接連絡があった等で146人（36.6%）が就業している。「ハローワーク」からの就業が常勤で前回調査より増加している。

表 44 看護職員の新規就業者数（n=219）

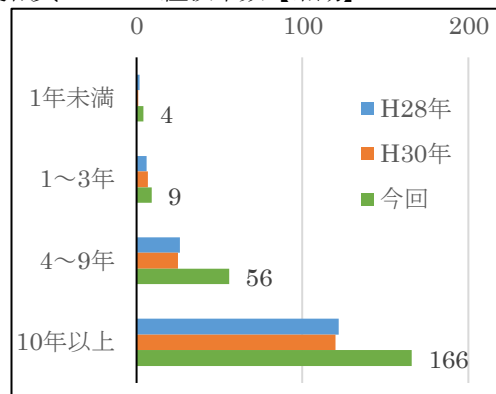
	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
常勤	235	58.9%	153	52.9%	156	56.5%	144	47.7%	89	50.9%	56	34.8%
非常勤	164	41.1%	136	47.1%	110	39.9%	158	52.3%	86	49.1%	105	65.2%
計	399	100%	289	100%	276	100%	302	100%	175	100%	161	100%

表 45 看護職員としての経験年数

【常勤】

経験年数	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	4	1.7%	1	0.7%	2	1.3%
1～3年	9	3.8%	7	4.6%	6	3.9%
4～9年	56	23.8%	25	16.3%	26	16.7%
10年以上	166	70.6%	120	78.4%	122	78.2%
計	235	100%	153	100%	156	100%

図 32 看護職員としての経験年数【常勤】



【非常勤】

経験年数	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	4	2.4%	0	0%	0	0%
1～3年	10	6.1%	3	2.2%	3	2.7%
4～9年	45	27.4%	21	15.4%	20	18.2%
10年以上	105	64.0%	112	82.4%	87	79.1%
計	164	100%	136	100%	110	100%

【非常勤】

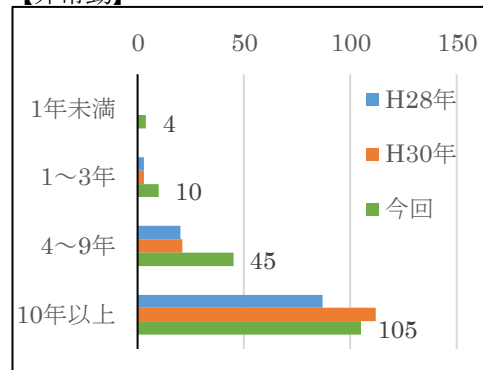


表 46 訪問看護の経験

経験の有無	今回				第5回 (H30.6)				第4回 (H28.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
経験あり	91	38.7%	42	25.6%	65	42.5%	40	29.4%	60	38.5%	41	37.3%
経験なし	144	61.3%	122	74.4%	88	57.5%	96	70.6%	96	61.5%	69	62.7%
計	235	100%	164	100%	153	100%	136	100%	156	100%	110	100%

表 47 就職前の職場

経験の有無	今回				第5回 (H30.6)				第4回 (H28.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	138	58.7%	103	62.8%	90	58.8%	62	45.6%	87	55.8%	49	44.6%
介護施設	42	17.9%	26	15.9%	28	18.3%	34	25.0%	41	26.3%	26	23.6%
その他	55	23.4%	16	9.8%	32	20.9%	30	22.1%	28	18.0%	21	19.1%
無職	0	0%	19	11.6%	3	2.0%	10	7.4%	0	0%	14	12.7%
計	235	100%	164	100%	153	100%	136	100%	156	100%	110	100%

表 48 新採用者の募集方法

	今回				第5回 (H30.6)				第4回 (H28.6)			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ナースセンター	12	5.1%	28	17.1%	13	8.5%	10	7.4%	10	6.4%	5	4.6%
ハローワーク	25	10.6%	16	9.8%	14	9.2%	21	15.4%	14	9.0%	10	9.1%
求人誌	25	10.6%	18	11.0%	7	4.6%	10	7.4%	11	7.1%	12	10.9%
紹介	76	32.3%	53	32.3%	70	45.8%	60	44.1%	78	50.0%	53	48.2%
その他	97	41.3%	49	29.9%	49	32.0%	35	25.7%	43	27.6%	30	27.3%
計	235	100%	164	100%	153	100%	136	100%	156	100%	110	100%

2) 求人状況 (令和2年6月現在)

求人状況は、常勤の募集が116か所、非常勤の募集が92か所で、募集人数は合計291人であった。
 求人方法は、前回調査ではナースセンターが最も多かったが、今回調査ではハローワークが最も多く、次いでナースセンターであった。

表 49 求人方法
(複数回答 n=208)

採用方法	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)	
	事業所数	割合	事業所数	割合	事業所数	割合
ハローワーク	107	51.4%	78	39.0%	87	39.9%
ナースセンター	65	31.3%	117	57.5%	73	47.5%
求人誌	44	21.2%	40	20.0%	43	23.5%
その他	53	25.5%	43	21.5%	42	23.0%
計	269		278		245	

5. 令和元年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の退職状況

令和2年4月以降に新設された6か所の事業所を除く219か所の事業所の退職者は、常勤118人（57.6%）、非常勤87人（42.4%）の合計205人であった。前回調査より49人増加している。

常勤の退職者0の事業所は138か所（63.0%）、非常勤の退職者0の事業所は156か所（71.2%）で、6～7割の事業所では退職者はいない。

常勤の退職数は、1人が最も多く、58か所（26.5%）であった。

常勤の退職者が5人の事業所が2か所あった。その退職理由は、「本人の健康」、「家族の介護」、「訪看が合わない」、「定年」等であった。

非常勤の退職数も1人が最も多く、49か所（22.4%）であった。

非常勤でも、退職者が最も多かった事業所では5人が退職をしている。その退職理由は、「本人の健康」、「家族の健康」、「人間関係」「責任の重さ・医療事故への不安」であった。

退職者が2人以上いた事業所を開設からの経過年数でみると、常勤では、開設11年以上が最も多く11か所（47.8%）、次いで多いのが5～10年で6か所（26.1%）であった。非常勤でも開設11年以上が最も多く8か所（57.1%）であった。

勤続年数でみると、常勤・非常勤共に1年未満の退職が最も多い。次に1～2年未満、5年以上である。就業して2年以内での退職は、常勤では67人（56.8%）、非常勤では43人（49.4%）あった。

常勤2年以内の退職理由で最も多いのは「訪問看護が合わない」が14人（20.9%）であった。その他は、「本人の健康」「家族の健康」「給与に不満」「転居」「携帯当番の負担」であった。

非常勤2年以内の退職理由で最も多いのは「訪問看護が合わない」が13人（30.2%）であった。その他は「本人の健康」「家族の健康」「転居」「人間関係」「給与に不満」の順であった。

全体としての退職理由は、常勤では「本人の健康問題」が最も多く、次いで「訪問看護が合わない」「携帯当番が負担」であった。「定年での退職」が7人あった。

【常勤退職者について】

表50 常勤の退職者状況（n=219）

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	138	63.0%
1	58	26.5%
2	13	5.9%
3	8	3.7%
5	2	0.9%
計	219	100%

表51 常勤退職者2人以上の事業所の開設経過年数

(n=23)

開設経過年数	退職者数別事業所数			合計	割合
	2人	3人	5人		
1～2年	0	2	0	2	8.7%
3～4年	3	0	1	4	17.4%
5～10年	4	2	0	6	26.1%
11年以上	6	4	1	11	47.8%
計	13	8	2	23	100%

表 52 常勤退職者の勤続年数 (n=118)

勤続年数	今回		第5回(30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	37	31.4%	32	37.2%	35	41.2%	25	35.2%	9	19.2%	16	34.8%
1～2年未満	30	25.4%	11	12.8%	17	20.0%	13	18.3%	13	27.7%	8	17.4%
2～3年未満	16	13.6%	15	17.4%	7	8.2%	6	8.5%	5	10.6%	5	10.9%
3～5年未満	9	7.6%	10	11.6%	6	7.1%	6	8.5%	1	2.1%	7	15.2%
5年以上	26	22.0%	18	20.9%	20	23.5%	21	29.5%	19	40.4%	10	21.7%
計	118	100%	86	100%	85	100%	71	100%	47	100%	46	100%

表 53 主な退職理由 (n=118 複数回答)

退職理由	今回		第5回(H30.6)		第4回(H28.6)		第3回(H26.6)		第2回(H24.9)		第1回(H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の健康	20	16.9%	12	14.0%	14	16.5%	13	18.3%	8	17.0%	10	21.7%
訪問看護が合わない	15	12.7%	11	12.8%	8	9.4%	9	12.7%	3	6.4%		
携帯当番が負担	15	12.7%	9	10.5%	10	11.8%	5	7.0%	7	14.9%	4	8.7%
転居	13	11.0%	5	5.8%	4	4.7%	4	5.6%	4	8.5%	6	12.8%
給与に不満	12	10.2%	10	11.6%	6	7.1%	5	7.0%	7	14.9%	1	2.2%
家族の健康	11	9.3%	6	7.0%	4	4.7%	4	5.6%	8	17.0%	4	8.7%
人間関係	10	8.5%	12	14.0%	4	4.7%	7	9.9%	6	12.8%	1	2.2%
定年	7	5.9%	5	5.8%								
責任・医療事故への不安	6	5.1%	6	7.0%	4	4.7%	3	4.2%	2	4.3%	0	0%
休暇がとれない	4	3.4%	0	0%	5	5.9%	4	5.6%	1	2.1%	0	0%
結婚	2	1.7%	3	3.5%	2	2.4%	1	1.4%	1	2.1%	2	4.4%
勤務時間が長い・超勤多い	2	1.7%	3	3.5%	5	5.9%	1	1.4%	0	0%	1	2.2%
出産・育児	0	0%	2	2.3%	6	7.1%	5	7.0%	3	6.4%	5	10.9%
進学	0	0%	0	0%	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
利用者の暴言暴力	0	0%										
その他	33	28.0%	19	22.1%	26	30.6%	16	22.5%	10	21.3%	14	30.4%
計	150											

【非常勤退職者について】

表 54 非常勤の退職者状況 (n=219)

退職者数	事業所数	
	数	割合
0	156	71.2%
1	49	22.4%
2	9	4.1%
3	1	0.5%
4	3	1.4%
5	1	0.5%
計	219	100%

表 55 非常勤退職者2人以上の事業所の開設経過年数

(n=14)

開設経過年数	退職者数別事業所数				合計	割合
	2人	3人	4人	5人		
1～2年	0	0	0	0	0	0%
3～4年	1	0	1	0	2	14.3%
5～10年	2	0	1	1	4	28.6%
11年以上	6	1	1	0	8	57.1%
計	9	1	3	1	14	100%

表 56 非常勤退職者の勤務年数 (n=87)

勤務年数	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1年未満	24	27.6%	26	37.1%	32	38.6%	31	43.6%	17	34.0%	15	28.3%
1～2年未満	19	21.8%	7	10.0%	18	21.7%	8	11.3%	10	20.0%	12	22.6%
2～3年未満	10	11.5%	12	17.1%	12	14.5%	13	18.3%	7	14.0%	4	7.5%
3～5年未満	16	18.4%	10	14.3%	9	10.8%	11	15.5%	7	14.0%	11	20.8%
5年以上	18	20.7%	15	21.4%	12	14.5%	8	11.3%	9	18.0%	11	20.8%
計	87	100%	70	100%	83	100%	71	100%	50	100%	53	100%

表 57 主な退職理由 (n=87 複数回答)

退職理由	今回		第5回 (H30.6)		第4回 (H28.6)		第3回 (H26.6)		第2回 (H24.9)		第1回 (H22.9)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人の健康	15	17.2%	12	17.1%	14	16.9%	6	8.5%	9	18.0%	14	26.4%
家族の健康	14	16.1%	9	12.9%	5	6.0%	12	16.9%	8	6.0%	5	9.4%
訪問看護が合わない	12	13.8%	6	8.6%	4	4.8%	3	4.2%	5	10.0%		
転居	11	12.6%	4	5.7%	5	6.0%	9	12.7%	3	6.0%	6	11.3%
人間関係	7	8.0%	0	0%	6	7.2%	2	2.8%	3	6.0%	3	5.7%
出産・育児	5	5.7%	3	4.3%	8	9.6%	5	7.0%	7	14.0%	6	11.3%
責任・医療事故への不安	4	4.6%	8	11.4%	4	4.8%	8	11.3%	3	6.0%	2	3.8%
給与に不満	3	3.4%	3	4.3%	3	3.6%	1	1.4%	4	8.0%	1	1.9%
結婚	2	2.3%	1	1.4%	0	0%	1	1.4%	0	0%	3	5.7%
勤務時間が長い・超勤多い	2	2.3%	0	0%	0	0%	2	2.8%	0	0%	0	0%
休暇がとれない	1	1.1%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
携帯当番が負担	0	0%	2	2.9%	1	1.2%	0	0%	0	14.9%	0	0%
進学	0	0%	0	0%	1	1.2%	0	0%	0	0%	0	0%
定年	0	0%	1	1.4%								
利用者の暴言暴力	0	0%										
その他	19	21.8%	28	40.0%	39	47.0%	27	38.0%	17	34.0%	13	24.5%
計	95											

退職理由の記述から

常勤	非常勤
起業のため	利用者からのクレーム
職場内の人間関係	常勤になれなかったため
家族の介護	新規利用者が多く、ついていけない。電子カルテが使えない
イメージしていた在宅やステーションと違った	ミスが多く、訪問に行くのが怖くなった
法人内の異動	利用者宅が汚れていると上がれない
会社の方針と不一致、会社自体に不満	コミュニケーション能力が低い
訪問先からのクレーム	家族の介護
訪問運転中の事故	通勤距離・時間が負担
アセスメント・手技が困難、継続できない	看護以外の仕事がしたい

図 33 常勤退職者の勤務年数

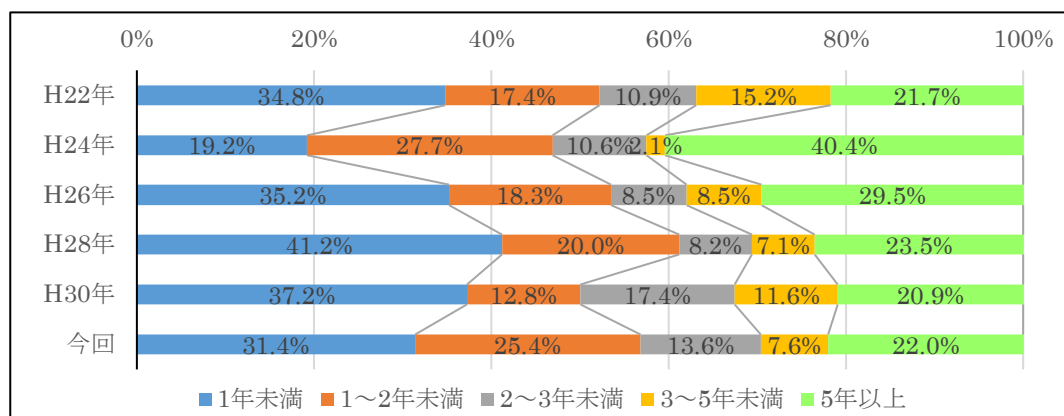
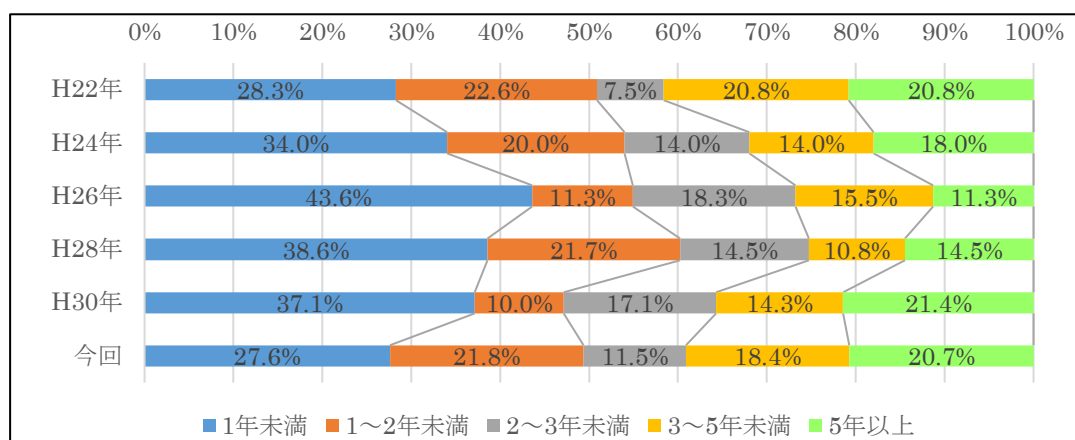


図 34 非常勤退職者の勤務年数



退職後の動向

退職後の動向は、分かっている範囲では、常勤・非常勤共に、介護施設が最も多い。
常勤・非常勤共に、退職者の1割は、他の訪問看護事業所へ就職している。

表 58 退職後の転職先

転職先	常勤		非常勤	
	人数	割合	人数	割合
病院・診療所	21	17.8%	11	12.6%
介護施設	24	20.3%	13	14.9%
他のステーション	12	10.2%	9	10.3%
その他	19	16.1%	15	17.2%
不明	42	35.6%	39	44.8%
計	118	100%	87	100%

6. 利用者からのハラスメントについて

ハラスメントの有無とハラスメントの種類

この2年間（平成30年6月～令和2年6月）の訪問で、精神的暴力・身体的暴力・セクシャルハラスメント等を受けたことがあると回答した事業所は、109か所（48.4%）あった。

ハラスメントの種類別では、精神的暴力は68か所（62.4%）、身体的暴力は22か所（20.2%）、セクシャルハラスメントは59か所（54.1%）、その他が7か所（6.4%）であった。

表59 利用者からのハラスメント（n=225）

	ハラスメント有無	精神的	身体的	セクシャル	その他
ある	109 (48.4%)	68 (62.4%)	22 (20.2%)	59 (54.1%)	7 (6.4%)
ない	116 (51.6%)				

図35 ハラスメントの有無（n=225）

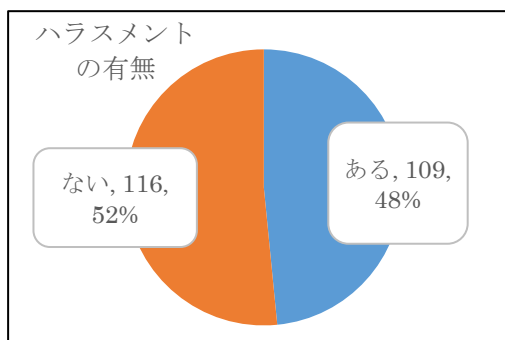
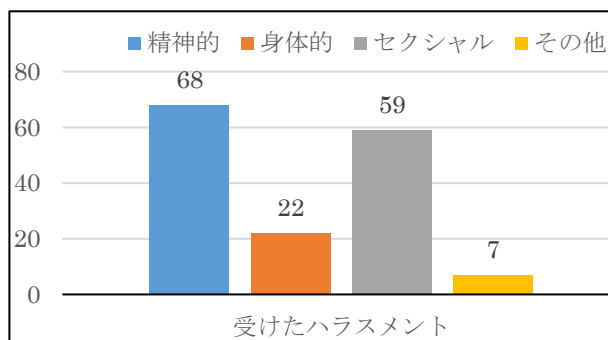


図36 ハラスメントの種類（n=109）複数回答



ハラスメントの内容と対応

ハラスメントの内容とその後の対応状況については、95件の記述があった。暴言・暴力については主治医やケアマネ等に報告・相談したり、本人や家族を交えて話合ったりしている。

ハラスメントへの対応は、複数名訪問にしたり、男性職員と一緒に訪問したり、担当者を変更する等工夫をしているが、中には訪問を中止したケースもあった。

ハラスメントの内容・対応の記述から

	ハラスメントの内容	利用者・家族への対応・その後
1	陰部を出したり、卑猥な言動。体に触る。	2人対応や男性スタッフの対応にした。
2	利用者の息子が飲酒し、威嚇する電話が連日続いた。	主治医・ケアマネ・包括に報告相談。弁護士にも対応相談し、契約解除する。
3	認知症の利用者から蹴る・つねる・噛む行為	声の掛け方、処置の説明に留意。複数名での対応。
4	大声で怒鳴られる。	複数名で対応。
5	突然物を投げてきて、逃げると車のドアを持ち暴言・近くにある物を投げられる。	近所の人が警察を呼ぶ。ケアマネと相談し、訪問は中止する。
6	声を荒げて暴言、叩く、引っ掻く、蹴る。	医師の指示で、2人訪問で対応する。
7	頻繁に言葉の暴力を受ける。	職員を交代しながら訪問継続。

静岡県訪問看護実態調査
(病院・診療所)

結果

目 次

I 目的	……	1
II 調査概要	……	1
III 調査方法	……	1
IV 調査期間	……	1
V 調査結果		
1. 医療機関の概要		
1) 設置主体	……	2
2) 病院の種類（病床の種類）	……	2
3) 入院設備（医療施設の種類）	……	3
4) 同一設置主体の併設事業	……	4
5) 訪問看護を開始してからの年数	……	5
6) 加算の届出状況	……	5
7) 独立部門としての設置状況	……	6
2. 看護職員体制		
1) 看護職員	……	6
2) 専門・認定看護師の有無	……	8
3. 研修の受講状況	……	9
4. 利用者の状況		
1) 利用者の年齢・性別	……	10
2) 保険別利用者数と延べ訪問回数	……	11
3) 介護保険利用者の内訳	……	11
4) 在宅での看取りの件数	……	12
5. 医療処置の実施状況	……	13
6. 訪問看護ステーション設置の意向	……	13

令和2年度 静岡県訪問看護実態調査（病院・診療所）

I 目的

本調査は、静岡県内のみなし訪問看護の実態を把握し、今後の訪問看護活動の発展向上に役立てることを目的とする。

II 調査概要

1. 調査対象 令和元年度にみなし訪問看護の実績があった静岡県内の病院・診療所
40か所（東部15か所、中部13か所、西部12か所）
2. 回収数 28件（回収率 70.0%）
3. 有効回答数 25件（有効回答率 89.3%）
4. 調査内容
 - 1) みなし訪問看護の実施状況
 - 2) 看護職員の就業状況
 - 3) 看護職員の研修受講状況

III 調査方法 郵送配布・回収（自記方式）

IV 調査期間 令和2年5月18日～令和2年7月20日
調査基準期間：令和2年6月1日～令和2年6月30日

V 調査結果

1. 医療機関の概要

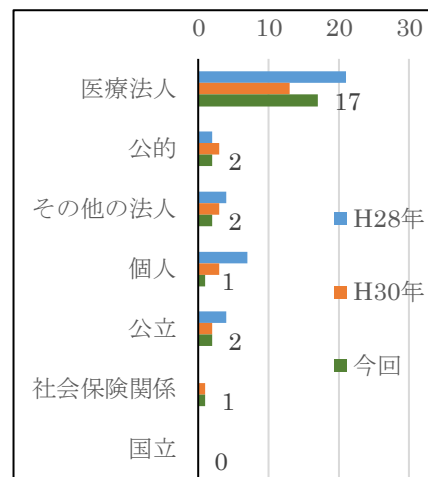
1) 設置主体

医療法人が17か所（68%）と最も多い。その他の法人は2か所（8.0%）で、内訳は社会福祉事業団、認可法人、株式会社が各1か所であった。

表1 設置主体 (n=25)

設置主体	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
医療法人	17	68.0%	13	52.0%	21	55.3%
公立	2	8.0%	2	8.0%	4	10.5%
公的	2	8.0%	3	12.0%	2	5.3%
その他の法人	2	8.0%	3	12.0%	4	10.5%
社会保険関係	1	4.0%	1	4.0%	0	0%
個人	1	4.0%	3	12.0%	7	18.4%
国立	0	0%	0	0%	0	0%
計	25	100%	25	100%	25	100%

図1 設置主体



2) 病院の種類（病床の種類）

入院施設のある9か所の内「一般病床のみ」が5か所（55.6%）、一般病床に加え療養病床に精神科病床、感染症病床があるところが各1か所、一般病床に結核病床・感染症病床があるところが1か所あった。

表2 病床の種類 (n=9)

種類	今回	
	数	割合
一般病床のみ	5	55.6%
一般病床+療養病床	1	11.1%
一般病床+療養病床+精神科病床	1	11.1%
一般病床+療養病床+感染症病床	1	11.1%
一般病床+結核病床+感染症病床	1	11.1%
計	9	100%

3) 入院設備（医療施設の種類）

入院設備は「有床」が9か所（36.0%）、「無床」が16か所（64.0%）であった。「有床」の内訳は19床以下の診療所が3か所（33.3%）、20～99床が2か所（22.2%）、100～300床が2か所（22.2%）、300床以上が2か所（22.2%）であった。

表3 入院設備の有無（n=25）

	今回		平成28年6月	
	数	割合	数	割合
有床	9	36.0%	17	44.7%
無床	16	64.0%	21	55.3%
計	25	100%	38	100%

図2 入院設備の有無

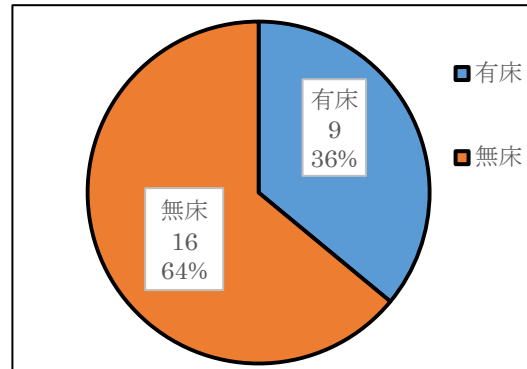
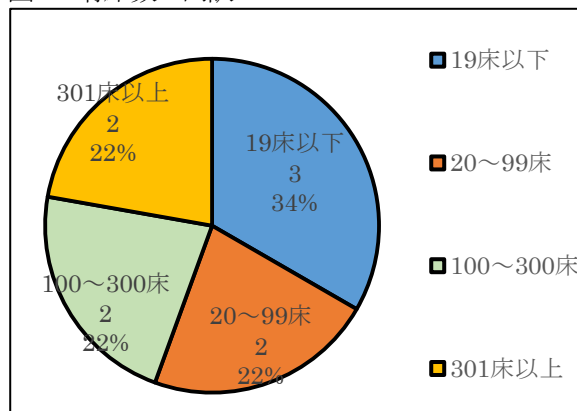


表4 有床数の内訳（n=9）

ベッド数	今回		平成28年6月	
	数	割合	数	割合
19床以下	3	33.3%	6	35.3%
20～99床	2	22.2%	3	17.6%
100～300床	2	22.2%	4	23.5%
301床以上	2	22.2%	4	23.5%
計	9	100%	17	100%

図3 有床数の内訳



4) 同一設置主体の併設事業

同一設置主体で「併設事業あり」は、25 か所全てであった。事業の内訳で最も多いのが、訪問看護が25 か所（100%）で、次いで訪問リハビリが7 か所（28.0%）であった。

表5 併設事業の有無 (n=25)

併設事業	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
あり	25	100%	25	100%	38	100%
なし	0	0%	0	0%	0	0%
計	25	100%	25	100%	38	100%

表6 併設事業の内訳 複数回答 (n=25)

事業の種類	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
訪問看護	25	100%	25	100%	38	100%
訪問リハビリ	7	28.0%	6	24.0%	11	29.0%
通所リハビリ	5	20.0%	3	12.0%	10	26.3%
病院	3	12.0%	4	16.0%	11	29.0%
診療所	3	12.0%	4	16.0%	29	76.3%
居宅介護支援	3	12.0%	2	8.0%	8	21.1%
訪問入浴介護	3	12.0%	1	4.0%	1	2.6%
老人保健施設	2	8.0%	3	12.0%	7	18.4%
短期入所生活介護	1	4.0%	3	12.0%	2	5.3%
サービス付き高齢者専用住宅	1	4.0%	3	12.0%	2	5.3%
訪問介護	1	4.0%	2	8.0%	3	7.9%
通所介護	1	4.0%	1	4.0%	3	7.9%
短期入所療養介護	1	4.0%	0	0%	4	10.5%
福祉用具貸与	1	4.0%	0	0%	0	0%
有料老人ホーム	1	4.0%				
介護療養型医療施設	0	0%	1	4.0%	8	21.1%
医療型特定短期入所	0	0%	1	4.0%	0	0%
グループホーム	0	0%	0	0%	1	2.6%
特別養護老人ホーム	0	0%	0	0%	1	2.6%
療養通所介護	0	0%	0	0%	0	0%
ケアハウス	0	0%	0	0%	0	0%
小規模多機能	0	0%	0	0%	0	0%
看護小規模多機能	0	0%	0	0%	0	0%
介護医療院	0	0%	0	0%		

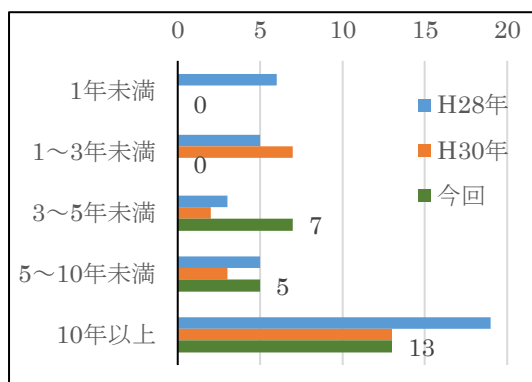
5) 訪問看護を開始してからの年数

訪問看護を開始してからの年数は「10年以上」が13か所（52.0%）で最も多く、次いで「3～5年未満」が7か所（28.0%）であった。

表7 訪問看護継続年数（n=25）

継続年数	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
1年未満	0	0%	0	0%	6	15.8%
1～3年未満	0	0%	7	28.0%	5	13.2%
3～5年未満	7	28.0%	2	8.0%	3	7.9%
5～10年未満	5	20.0%	3	12.0%	5	13.2%
10年以上	13	52.0%	13	52.0%	19	50.0%
計	25	100%	25	100%	38	100%

図4 訪問看護継続年数



6) 加算の届出状況

加算の届出状況は、「緊急時訪問看護加算」が12か所（48.0%）と最も多く、次いで「特別管理加算」が10か所（40.0%）、「ターミナルケア加算」9か所（36.0%）であった。

表8 加算の届出状況 複数回答（n=25）

加算の種類	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
緊急時訪問看護加算	12	48.0%	16	64.0%	14	36.8%
特別管理加算	10	40.0%	10	40.0%	16	42.1%
ターミナルケア加算	9	36.0%	10	40.0%	14	38.8%
24時間対応加算	5	20.0%	7	28.0%	0	0%
初回加算	1	4.0%	2	8.0%	1	2.6%
看護体制強化加算	2	8.0%	2	8.0%	0	0%
サービス体制強化加算	2	8.0%	1	4.0%	4	10.5%
特別地域加算	0	0%	1	4.0%	0	0%

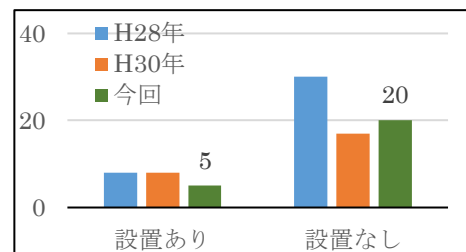
7) 独立部門としての設置状況

訪問看護を独立部門として「設置している」ところが5か所(20.0%)、「設置していない」ところが20か所(80.0%)であった。訪問看護部門を設置している5か所の内、3か所(60.0%)は訪問看護を開始して10年以上経過していた。

表9 訪問看護部門設置 (n=25)

設置の有無	今回		平成30年6月		H28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
設置あり	5	20.0%	8	32.0%	8	21.1%
設置なし	20	80.0%	17	68.0%	30	78.9%
計	25	100%	25	100%	38	100%

図5 訪問看護部門設置



2. 看護職員体制

1) 看護職員

「看護職員」は、看護師98人(95.1%)、准看護師5人(4.9%)、保健師は0人(0%)であった。助産師は前回と同様で0であった。

看護職員の常勤換算数は、1.1~1.9人が9か所(36.0%)と最も多い。1医療機関あたりの看護職員の常勤換算数は、2.38人で、前回調査より若干増加している。地区別では、2か所が訪問看護ステーションに移行したことにより中部地区の常勤換算数が減少している。

表10 看護職員数 令和2年6月現在 (単位:人)

	総数	常勤		非常勤	常勤換算		常勤換算 (H30年6月)	
		専従	兼務		数	割合	数	割合
総数	103	25	57	21	59.63	100%	51.7	100%
保健師	0	0	0	0	0	0%	1.0	1.9%
助産師	0	0	0	0	0	0%	0	0%
看護師	98	23	54	21	56.37	94.5%	49.0	94.8%
准看護師	5	2	3	0	3.26	5.5%	1.7	3.3%

表11 圏域別看護職員数 令和2年6月現在 (単位:人)

東部	圏域	看護師	保健師	助産師	准看護師	看護職員/施設	地区別
東部	賀茂(1)	0.02	0	0	0.01	0.03	21.93
	熱海・伊東(2)	3.8	0	0	0	3.8	
	駿東・田方(3)	6.1	0	0	0	6.1	
	富士(3)	11.0	0	0	1.0	12.0	
中部	静岡(5)	7.3	0	0	1.25	8.55	8.55
	志太・榛原(0)	0	0	0	0	0	
西部	中東遠(5)	9.85	0	0	0	9.85	29.15
	西部(6)	18.3	0	0	1.0	19.3	
合計		56.37	0	0	3.26	59.63	59.63

表 12 1 医療機関あたりの看護職員数 (n=25)

	今 回				平成 30 年 6 月	平成 28 年 6 月
	従事者数			常勤換算数		
	総数	常勤	非常勤			
総数	4.12	3.28	0.84	2.38	2.07	1.7
保健師	0	0	0	0	0.04	0.04
助産師	0	0	0	0	0	0
看護師	3.92	3.08	0.84	2.25	1.96	1.56
准看護師	0.2	0.2	0	0.13	0.07	0.11

表 13 看護職の地区別常勤換算数の推移

	令和 2 年 6 月			平成 30 年 6 月			平成 28 年 6 月		
	東部	中部	西部	東部	中部	西部	東部	中部	西部
保健師	0	0	0	0	0	0.1	0	0	0.1
助産師	0	0	0	0	0	0	0	0	0
看護師	2.33	0.68	2.56	2.6	2.25	1.28	1.98	1.05	1.6
准看護師	0.11	0.26	0.09	0.03	0.13	0.05	0.12	0.15	0.07
計	2.44	0.94	2.65	2.63	2.38	1.43	2.1	1.2	1.67

表 14 常勤換算数と医療機関数 (n=25)

常勤換算数	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
1.0 人以下	6	24.0%	12	48.0%	21	55.3%
1.1~1.9 人	9	36.0%	0	0%	4	10.5%
2.0~2.9 人	4	16.0%	4	16.0%	6	15.8%
3.0~3.9 人	1	4.0%	3	12.0%	3	7.9%
4.0~4.9 人	3	12.0%	5	20.0%	2	5.3%
5.0 人以上	2	8.0%	1	4.0%	2	5.3%
計	25	100%	25	100%	38	100%

常勤換算数と訪問看護部門設置

訪問看護部門を設置している5か所の常勤換算数は、「1.0人以下」「1.1～1.9人」「4.0人以上」が各1か所、「2.0～2.9人」が2か所であった。訪問看護部門を設置していない20か所の常勤換算数は、「1.0以下」が10か所と最も多かった。

表 15 訪問看護部門あり (n=5)

常勤換算数	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
1.0人以下	1	20.0%	2	25.0%	2	25.0%
1.1～1.9人	1	20.0%	0	0%	0	0%
2.0～2.9人	2	40.0%	1	12.5%	1	12.5%
3.0～3.9人	0	0%	3	37.5%	3	37.5%
4.0人以上	1	20.0%	2	25.0%	2	25.0%
計	5	100%	8	100%	8	100%

表 16 訪問看護部門なし (n=20)

常勤換算数	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
1.0人以下	10	50.0%	10	58.8%	19	63.3%
1.1～1.9人	3	15.0%	0	0%	4	13.3%
2.0～2.9人	2	10.0%	3	17.7%	5	16.7%
3.0～3.9人	1	5.0%	0	0%	0	0%
4.0人以上	4	20.0%	4	23.5%	2	6.7%
計	20	100%	17	100%	30	100%

2) 専門・認定看護師の有無

専門・認定看護師は、「いる」が3か所(12.0%)4人であった。認定看護師の分野は、緩和ケア認定看護師が1人、皮膚・排泄ケア認定看護師が1人、訪問看護認定看護師が1人、在宅看護専門看護師が1人であった。

認定看護師ではないが、「日本糖尿病療養指導士」の認定者が1人いた。

表 17 専門・認定看護師の有無 (n=25)

	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
いる	3	12.0%	3	12.0%	5	13.2%
いない	22	88.0%	22	88.0%	33	86.8%
計	25	100%	25	100%	38	100%

表 18 認定看護師の分野 (n=4)

認定領域	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
緩和ケア	1	25.0%	3	75.0%	0	0%
訪問看護	1	25.0%	1	25.0%	3	60.0%
皮膚・排泄ケア認定看護師	1	25.0%	0	0%	0	0%
在宅看護専門看護師	1	25.0%	0	0%	0	0%
脳卒中リハビリテーション看護	0	0%	0	0%	1	20.0%
摂食嚥下障害看護	0	0%	0	0%	1	20.0%
計	4	100%	4	100%	38	100%

3. 研修の受講状況

研修の受講状況は「受講あり」が 11 か所 (44%)、「受講なし」が 14 か所 (56%) であった。

「受講あり」の理由は、「受講したい内容」「情報交換」が 9 か所 (81.8%) 「受講しやすい地域で開催」が 8 か所 (72.7%) であった。

「受講なし」の理由は、「研修の開催を知らない」が 7 か所 (50.0%)、「業務多忙で受講できない」が 7 か所 (50.0%) で、「参加しにくい地域」が 3 か所 (21.4%)、「受講したい内容がない」が 1 か所 (7.1%) であった。

「研修の開催を知らなかった」と回答した内の 6 か所は「情報があれば受講させる」であるが、1 か所は、開催の日時や場所によると回答している。

表 19 研修受講の有無 (n=25)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
受講あり	11	44.0%	10	40%	19	50.0%
受講なし	14	56.0%	14	56%	18	47.4%
受講予定	0	0%	1	4%	1	2.6%
計	25	100%	25	100%	38	100%

表 20 受講ありの理由 複数回答 (n=11)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
受講したい内容	9	81.8%	9	90%	16	84.2%
情報交換できる	9	81.8%	3	30%	11	57.9%
参加しやすい地域	8	72.7%	10	100%	7	36.8%

表 21 受講なしの理由 複数回答 (n=14)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
研修の開催を知らなかった	7	50.0%	7	57.1%	9	50.0%
業務多忙で受講できない	7	50.0%	5	35.7%	12	66.7%
参加しにくい地域	3	21.4%	3	21.4%	5	27.8%
受講したい内容がない	1	7.1%	2	14.3%	2	11.1%
研修の必要性を感じない	0	0%	0	0%	1	5.6%

表 22 開催情報があれば (n=7)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
受講させる	6	85.7%	7	100%	8	88.9%
受講させない	0	0%	0	0%	1	11.1%
その他	1	14.3%	0	0%	0	0%
計	7	100%	7	100%	9	100%

4. 利用者の状況 (令和 2 年 6 月 1 日～6 月 30 日の 1 か月)

1) 利用者の年齢・性別

令和 2 年 6 月の 1 か月間の訪問看護利用者総数は、401 人であった。前回調査より 77 人の減である。男女比率は、男性 204 人 (50.9%)、女性 197 人 (49.1%) であった。

年齢別では、これまでの調査同様 75～99 歳が最も多く、294 人 (73.3%) と訪問看護利用者全体の 7 割を占めている。

表 23 利用者の年齢別・性別

	今回				平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	男性	女性	利用者総数		利用者総数		利用者総数	
	人数	人数	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0～15 歳	1	0	1	0.2%	16	3.4%	22	5.0%
16～39 歳	7	0	7	1.7%	15	3.1%	20	4.6%
40～64 歳	17	19	36	9.0%	41	8.6%	36	8.2%
65～74 歳	37	25	62	15.5%	68	14.2%	65	14.8%
75～99 歳	142	152	294	73.3%	336	70.3%	289	65.8%
100 歳以上	0	1	1	0.2%	2	0.4%	7	1.6%
計	204	197	401	100%	478	100%	439	100%

2) 保険別利用者数と延べ訪問回数

保険別の利用者数は、介護保険が211人（52.6%）、医療保険が188人（46.9%）であった。前回調査より介護保険の利用者数は増加し、割合も増加している。訪問回数では、医療保険の訪問回数が数・割合共に増加している。

表24 保険別利用者数（人数）

	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
介護保険	211	52.6%	225	47.1%	273	62.2%
医療保険	188	46.9%	247	51.7%	162	36.9%
その他	2	0.5%	6	1.3%	4	0.9%
計	401	100%	478	100%	439	100%

表25 保険別訪問回数（回数）

	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
介護保険	1,094	49.6%	996	56.8%	1,159	60.9%
医療保険	1,084	49.2%	737	42.0%	730	38.4%
その他	26	1.2%	22	1.3%	14	0.7%
計	2,204	100%	1,755	100%	1,903	100%

3) 介護保険利用者の内訳

介護保険利用者を介護度別で見ると、要介護1が最も多く55人（26.1%）であった。次いで要介護3が38人（18.0%）であった。前回調査より、要介護2・4・5の利用者数は減少している。訪問回数は、要介護5が最も多く、前回の調査より回数・割合共に増加している。

表26 介護度別利用者状況（人数）

	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
要支援1・2	33	15.6%	21	9.3%	15	5.5%
要介護1	55	26.1%	46	20.4%	45	16.5%
要介護2	35	16.6%	46	20.4%	53	19.4%
要介護3	38	18.0%	38	16.9%	48	17.6%
要介護4	31	14.7%	41	18.2%	66	24.2%
要介護5	19	9.0%	33	14.7%	46	16.8%
計	211	100%	225	100%	273	100%

図6 介護度別利用者状況（人数）

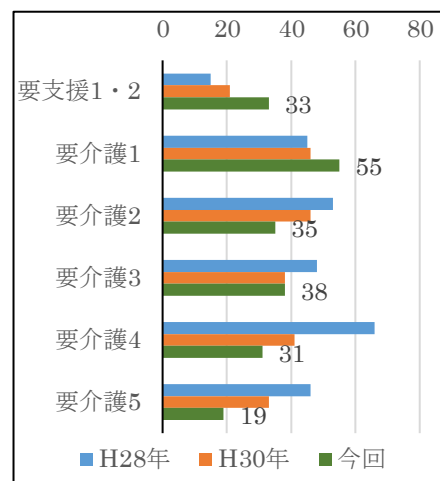
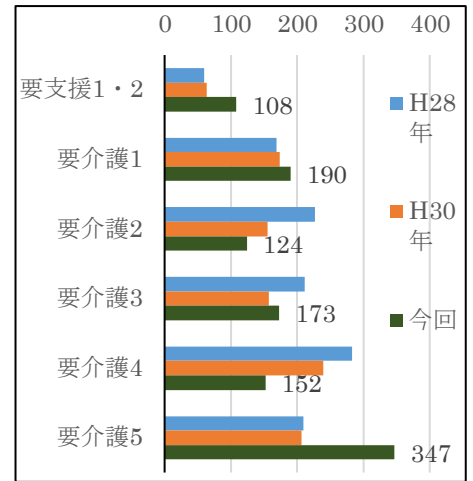


表 27 介護度別利用者状況 (訪問回数)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	回数	割合	回数	割合	回数	割合
要支援 1・2	108	9.9%	64	6.4%	60	5.2%
要介護 1	190	17.4%	174	17.5%	169	14.6%
要介護 2	124	11.3%	155	15.6%	227	19.6%
要介護 3	173	15.8%	157	15.8%	211	18.2%
要介護 4	152	13.9%	239	24.0%	283	24.4%
要介護 5	347	31.7%	207	20.8%	209	18.0%
計	1,094	100%	996	100%	1,159	100%

図 7 介護度別利用者状況 (訪問回数)



4) 在宅での看取り件数

令和元年度中の在宅での看取りは214件で、看取りを行っていない医療機関は14か所(56.0%)である。看取りを行った医療機関のうち、看取り数1~5件が7か所(28.0%)と最も多い。1か所は150件以上の看取りを行っていた。地区別の看取り数は、各地区とも前回調査より大幅に減少している。

表 28 看取り数 (n=25)

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0	14	56.0%	11	44.0%	20	52.6%
1~5	7	28.0%	8	32.0%	11	28.9%
6~10	1	4.0%	1	4.0%	2	5.3%
11~15	1	4.0%	0	0%	1	2.6%
16~20	0	0%	1	4.0%	0	0%
21~30	1	4.0%	1	4.0%	0	0%
31~40	0	0%	1	4.0%	0	0%
41~50	0	0%	0	0%	1	2.6%
51以上	1	4.0%	2	8.0%	3	7.9%
計	25	100%	25	100%	38	100%

図 8 看取り数 (n=25)

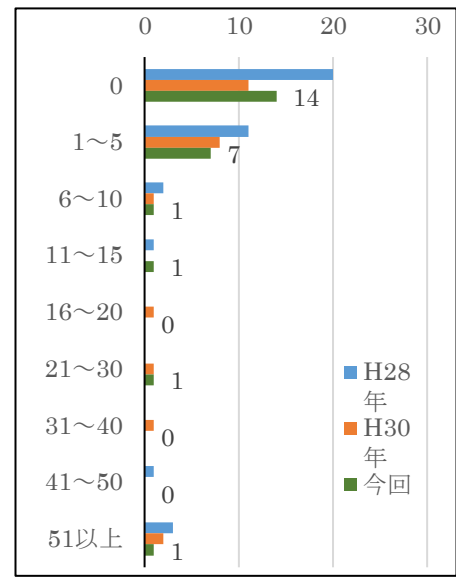
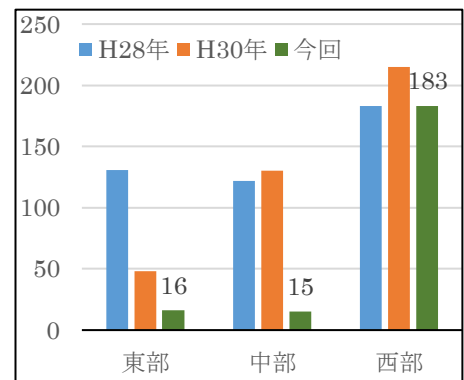


表 29 地区別看取り数

	今回		平成 30 年 6 月		平成 28 年 6 月	
	数	割合	数	割合	数	割合
東部	16	7.5%	48	12.2%	131	30.0%
中部	15	7.0%	130	33.1%	122	28.0%
西部	183	85.5%	215	54.7%	183	42.0%
計	214	100%	393	100%	436	100%

図 9 地区別看取り数 (n=25)



5. 医療処置の実施状況

医療処置の実施状況は、「在宅酸素療法」は25か所（100%）が実施している。「点滴・静脈注射・持続皮下注射」は、24か所（96%）が実施していた。「在宅自己腹膜灌流」は、前回調査同様4か所（16%）と最も少なかった。

表30 医療処置の実施状況 複数回答（n=25）

	今回		平成30年		平成28年6月	
	機関数	割合	機関数	割合	機関数	割合
褥瘡の処置	22	88.0%	25	100%	33	86.8%
点滴・静脈注射・持続皮下注射	24	96.0%	24	96.0%	32	84.2%
服薬	23	92.0%	24	96.0%	32	84.2%
留置カテーテル（膀胱内・腎瘻・膀胱瘻）	19	76.0%	24	96.0%	31	81.6%
吸入・吸引	22	88.0%	24	96.0%	31	81.6%
在宅酸素療法	25	100%	24	96.0%	30	78.9%
経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）	22	88.0%	23	92.0%	30	78.9%
ストーマケア	21	84.0%	21	84.0%	25	65.8%
インスリン	22	88.0%	18	72.0%	29	76.3%
ペインコントロール	15	60.0%	17	68.0%	22	57.9%
在宅リハビリ（看護師による）	18	72.0%	17	68.0%	22	57.9%
気管カニューレ	14	56.0%	17	68.0%	21	55.3%
人工呼吸器	12	48.0%	17	68.0%	18	47.4%
中心静脈栄養	16	64.0%	16	64.0%	23	60.5%
在宅自己腹膜灌流	4	16.0%	5	20.0%	10	26.3%

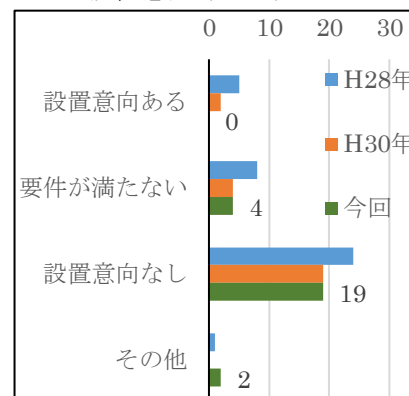
6. 訪問看護ステーション設置の意向

訪問看護ステーション設置の意向は、「意向がない」が19か所（76.0%）であった。「意向はあるが要件を満たさない」は、昨年同様4か所（16.0%）であった。その他として「既に設置」「兼務中」と回答した事業所が2か所（8.0%）あった。

表31 訪問看護ステーション設置意向（n=25）

	今回		平成30年6月		平成28年6月	
	数	割合	数	割合	数	割合
設置意向ある	0	0%	2	8.0%	5	13.2%
要件を満たさない	4	16.0%	4	16.0%	8	21.1%
設置意向なし	19	76.0%	19	76.0%	24	63.2%
既に設置・兼務中	2	8.0%	0	0%	1	2.6%
計	25	100%	25	100%	38	100%

図10 訪問看護ステーション設置意向（n=25）



静岡県訪問看護実態調査票

訪問看護ステーション

病院・診療所

令和2年度 静岡県訪問看護ステーション実態調査票

締切：7月20日(月)まで

1. 訪問看護ステーションの概要

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会

事業所名			
開設年月日	年 月 日	記載者氏名(職種)	()
住所	〒		
医療圏(該当番号に○)	1. 賀茂 2. 熱海・伊東 3. 駿東・田方 4. 富士 5. 静岡 6. 志太榛原 7. 中東遠 8. 西部		
TEL		FAX	
メールアドレス			
設置主体 (該当番号に○)	1. 公立 2. 日赤 3. 医療法人 4. 医師会 5. 看護協会 6. 社団法人・財団法人 7. 社会福祉協議会 8. 社会福祉法人 9. 協同組合・連合会 10. 農業協同組合連合会・農協共済 11. 株式会社・有限会社・合同会社等営利法人 12. 特定非営利法人 13. その他()		
同一法人の併設医療機関 (該当項目に○)	1. あり → 病院のみ ・ 診療所のみ ・ 両方 2. なし		
同一法人が行っている事業	I. あり (該当する番号すべてに○) 1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問リハ(医療機関) 4 療養通所介護 5 通所介護 6 通所リハ 7 福祉用具貸与 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 ケアハウス 11 グループホーム 12 居宅介護支援 13 小規模多機能居宅介護 14 特別養護老人ホーム 15 老人保健施設 16 看護小規模多機能居宅介護 17 定期巡回・随時対応 18 介護医療院 19 サービス付き高齢者専用住宅 20 その他() II. なし		
サテライトの設置について (該当番号に○)	1. すでに設置している 設置数()ヶ所 2. 設置の意向なし 3. 設置の意向はあるが設置は困難、あるいは無理		
	サテライト設置が困難と回答された方のみ 困難・無理の理由は 1. 初期投資費用 2. 人材確保が困難 3. 利用者のニーズが不明 4. 黒字化が難しい、利益が見込めない		
機能強化型について (該当番号に○)	1. 要件を満たして、届出をしている 2. 要件を満たしているが、届出はしていない 3. 意向はあるが要件を満たしていない 4. 要件を満たしていない、または意向なし		

加算等の届出状況	加算の種類		届出の有無	6月の算定実績数
	緊急時訪問看護加算		有 ・ 無	
	特別管理加算		有 ・ 無	
	ターミナルケア加算		有 ・ 無	
	24時間対応体制加算		有 ・ 無	
	居宅療養管理指導		有 ・ 無	
	看護体制強化加算		有 ・ 無	
	サービス提供体制強化加算		有 ・ 無	
	定期巡回・随時対応型サービス連携		有 ・ 無	
	機能強化型訪問看護管理療養費 1		有 ・ 無	
	機能強化型訪問看護管理療養費 2		有 ・ 無	
	機能強化型訪問看護管理療養費 3		有 ・ 無	
	精神科訪問看護基本療養費		有 ・ 無	
	精神科重症患者支援管理連携加算		有 ・ 無	

職員体制 (令和2年6月30日現在の状況)	常勤(管理者を含む)		非常勤	常勤換算 (小数点1位まで)
	専従	兼務		
休職者を除く 人員が0の場合 は「0」と記入	保健師	人	人	人
	助産師	人	人	人
	看護師	人	人	人
	准看護師	人	人	人
	P T	人	人	人
	O T	人	人	人
	S T	人	人	人
	精神保健福祉士	人	人	人
	事務職員	人	人	人

看護職員全員対象 個々の満年齢	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	人数											
令和2年6月末現在 (男性人数)	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
	人数											

専門看護師 認定看護師の 状況	1. いる → 領域・分野 () が () 人 2. いない
-----------------------	-------------------------------------

6月の訪問 終了者数	人
在宅での看 取り人数	令和元年度中（ ）人 自宅（ ）人、グループホーム（ ）人、サ高住（ ）人、 有料老人ホーム（ ）人、養護老人ホーム（ ）人、軽費老人ホーム（ ）人 特別養護老人ホーム（ ）人、小規模多機能居宅介護（ ）人、 看護小規模多機能居宅介護（ ）人

医療処置の対応 概況	インスリン	可 ・ 不可
	点滴・静脈注射・持続皮下注射	可 ・ 不可
	中心静脈栄養	可 ・ 不可
	在宅自己腹膜灌流	可 ・ 不可
	ストーマケア	可 ・ 不可
	在宅酸素療法	可 ・ 不可
	人工呼吸器	可 ・ 不可
	気管カニューレ	可 ・ 不可
	吸入・吸引	可 ・ 不可
	服薬	可 ・ 不可
	経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）	可 ・ 不可
	褥瘡の処置	可 ・ 不可
	留置カテーテル（膀胱内・腎瘻・膀胱瘻）	可 ・ 不可
	ペインコントロール	可 ・ 不可
	リンパドレナージ	可 ・ 不可
	在宅リハビリ（看護師による） （PT, OTによる）	可 ・ 不可

3・対象者別対応状況

小 児	対応	令和元年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1歳未満（ ）人、1～6歳（ ）人、7～15歳（ ）人 16歳以上（ ）人	人
難 病	対 応	令和元年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1～15歳（ ）人、16～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人 65～74歳（ ）人、75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人
悪性新生 物	対 応	令和元年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	1～15歳（ ）人、16～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人 65～74歳（ ）人、75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人
精神疾患 （精神科医 からの指 示）	対 応	令和元年度中の訪問利用者の年齢・人数	計
	可・不可	15～39歳（ ）人、40～64歳（ ）人、65～74歳（ ）人 75～99歳（ ）人、100歳以上（ ）人	人

4. 令和元年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の就業・求人状況

看護職員の 新規就業者数 (令和元年度 1年間)	常勤者数	人 うち新卒者の採用 ()人
	看護師の経験年数	1年未満 ()人、1～3年 ()人、4～9年 ()人 10年以上 ()人
	訪問看護の経験	1. 経験あり ()人 2. 経験なし ()人
	就業前の職場	1. 病院・診療所 ()人、 2. 介護施設 ()人 3. その他 ()人 具体的に記載 () 4. 無職 ()人
	採用方法	1. ナースセンター ()人、 2. ハローワーク ()人 3. 求人情報誌 ()人 、 4. 紹介 ()人 5. その他 ()人
	非常勤者数	人
	看護師の経験年数	1年未満 ()人、1～3年 ()人、4～9年 ()人 10年以上 ()人
	訪問看護の経験	1. 経験あり ()人 2. 経験なし ()人
	就業前の職場	1. 病院・診療所 ()人 、2. 介護施設 ()人 3. その他 ()人 具体的に記載 () 4. 無職 ()人
	採用方法	1. ナースセンター ()人、 2. ハローワーク ()人 3. 求人情報誌 ()人 、 4. 紹介 ()人 5. その他 ()人
	求人状況 (令和2年 6月30日 現在)	常勤職員 名
	非常勤職員 名	
	求人方法（該当する番号に○、複数可） 1 ナースセンター 2 ハローワーク 3 求人情報誌 4 その他 ()	

5. 令和元年度看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）の退職状況

看護職員の 退職者について (令和元年度の 1年間で)	常勤職員数	人
	勤続年数内訳	1年未満（ ）人、1～2年（ ）人、2～3年（ ）人 3～5年（ ）人、5年以上（ ）人
	退職理由 該当項目全て (複数回答可)	1. 出産・育児（ ）人 2. 結婚（ ）人、 3. 定年（ ）人 4. 本人の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 5. 家族の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 6. 転居（ ）人、 7. 進学（ ）人 8. 人間関係（ ）人→具体的に（ ） 9. 訪問看護が合わない（ ）人 →どのようなところが合わないか具体的に記載（ ） 10. 勤務時間が長い・超過勤務が多い（ ）人、 11. 休暇がとれない（ ）人 12. 携帯当番の負担が大きい（ ）人 13. 給与に不満（ ）人 14. 責任の重さ・医療事故への不安（ ）人 15. 利用者からの暴言暴力（ ）人 16. その他（ ）人 具体的に理由を記載（ ）
	退職後の動向	病院・診療所（ ）人、介護施設（ ）人、 他のステーション（ ）人、その他（ ）人→具体的に（ ） 不明（ ）人
	非常勤職員数	人
	勤続年数内訳	1年未満（ ）人、1～2年（ ）人、2～3年（ ）人 3～5年（ ）人、5年以上（ ）人
	退職理由 該当する項目全 て	1. 出産・育児（ ）人、2. 結婚（ ）人、3. 定年（ ）人 4. 本人の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 5. 家族の健康問題（ ）人→具体的に記載（ ） 6. 転居（ ）人、 7. 進学（ ）人 8. 人間関係（ ）人→具体的に（ ） 9. 訪問看護が合わない（ ）人 →どのようなところが合わないか具体的に記載（ ） 10. 勤務時間が長い・超過勤務が多い（ ）人、 11. 休暇がとれない（ ）人 12. 携帯当番の負担が大きい（ ）人 13. 給与に不満（ ）人 14. 責任の重さ・医療事故への不安（ ）人 15. 利用者からの暴言暴力（ ）人 16. その他（ ）人 具体的に理由を記載（ ）
	退職後の動向	病院・診療所（ ）人、介護施設（ ）人 他のステーション（ ）人、その他（ ）人→具体的に（ ） 不明（ ）人

6. 利用者からのハラスメントについて

Q1 この2年間の訪問で、精神的暴力・身体的暴力・セクシャルハラスメント等を受けたことがある。

1. ある 2. ない

あると回答された方にお尋ねをします。

受けたハラスメントは

1. 精神的暴力 2. 身体的暴力 3. セクシャルハラスメント 4. その他

よろしければ、具体的内容について記入して下さい。

ハラスメントをした利用者・その家族への対応

若しくはその後の訪問はどうしましたか

静岡県訪問看護実態調査票 【病院・診療所】

一般社団法人静岡県訪問看護ステーション協議会

問1. 貴医療機関の概要についてお伺いします。

1. 名称・住所・電話番号をご記入下さい。

名称 ()
住所 (〒)
電話 ()

2. 医療圏について、該当する番号に○印をつけて下さい。

- 1 賀茂 2 熱海・伊東 3 駿東・田方 4 富士 5 静岡 6 志太榛原
7 中東遠 8 西部

3. 設置主体について、該当する番号に○印をつけて下さい。

- 1 国立 2 公立 3 公的 4 社会保険関係 5 医療法人
6 その他の法人 ()

4. 病院の種別について、該当する番号に○印をつけて下さい。

- 1 一般 2 精神 3 療養型 4 その他

5. 入院設備について、該当する番号に○印をつけて下さい。有床の場合は、ベッド数をご記入ください。

- 1 有床 () 床
2 無床

6. 同一設置主体で併設している施設または、サービスについて、該当する番号に○印をつけて下さい。(複数回答可)

- 1 病院 2 診療所 3 介護療養型医療施設 4 訪問看護 5 サービス付き高齢者住宅 6
訪問介護 7 訪問入浴介護 8 訪問リハビリ 9 療養通所介護 10 通所介護 11
通所リハビリ 12 福祉用具貸与 13 短期入所生活介護 14 短期入所療養介護
15 ケアハウス 16 グループホーム 17 居宅介護支援 18 小規模多機能
19 特別養護老人ホーム 20 老人保健施設 21 看護小規模多機能介護 22 介護医療院
23 その他 ()

7. 貴医療機関が訪問看護(訪問看護ステーションを除く)を開始してからの年数について、該当する番号に○印をつけて下さい。(令和2年6月現在)

- 1) 1年未満 2) 1年から3年未満 3) 3年～5年未満 4) 5年～10年未満 5) 10年以上

8. 加算の届出状況について、該当する番号すべてに○印をつけて下さい。

- 1 緊急時訪問看護加算 2 特別管理体制加算 3 ターミナルケア体制加算
4 24時間対応体制加算 5 看護体制強化加算 6 サービス提供体制強化加算
7 その他 ()

9. 訪問看護は独立した部門として設置されていますか。該当する番号に○印をつけて下さい。

- 1 訪問看護室あるいは訪問看護部が設置されている
- 2 部門は設置していない

問2. 訪問看護を実施している看護職員についてお伺いします。

1. 訪問看護を実施している看護職員は専従か兼務かについてお伺いします。また、その人数を該当する欄にご記入下さい。

	常勤		非常勤	常勤換算 (小数点1位まで)
	専従	兼務		
保健師	人	人	人	人
助産師	人	人	人	人
看護師	人	人	人	人
准看護師	人	人	人	人

※ 常勤換算がご不明の場合は、各職員の勤務時間をお書き下さい。

2. 訪問看護を実施している看護職員の年齢についてお伺いします。

お一人ずつの令和2年6月末日現在の満年齢をご記入下さい。

年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
人数							

3. 訪問看護に従事する職員に、専門看護師・認定看護師はいますか。

いると回答されたところは、その領域・分野と人数をご記入下さい。

- 1 いる → 領域・分野 () が () 人
- 2 いない

問3. 研修の受講についてお伺いします。

1. 訪問看護ステーション協議会・看護協会では、訪問看護に関連した様々な研修を実施していますが、これまでに研修を受講されたことがありますか。

- 1 受講したことがある
- 2 今後受講予定
- 3 受講したことがない

2. 受講したことがあると回答された方のみ その理由について該当する番号すべてに○印をつけて下さい。

- 1 参加しやすい地域で開催されたから
- 2 受講したい内容だった
- 3 情報交換できるから

3. 受講したことがないと回答された方のみ その理由について該当する番号すべてに○印をつけて下さい。

- 4 研修の開催を知らなかった
- 5 受講したい内容がない
- 6 研修の必要性を感じない
- 7 業務多忙で受講できない
- 8 参加しやすい地域ではなかった

4. 「研修の開催を知らなかった」と回答された方にお伺いします。 研修開催の情報があれば、

- 1 受講させる
- 2 受講させない 理由 ()

問5. 訪問看護の利用者（令和2年6月1日～6月30日までの1ヵ月間）についてお伺いします。

1. 利用者の年齢と性別ごとの人数をご記入下さい。

利用者の 年齢・性別	年齢	0～15歳	16～39歳	40～64歳	65～74歳	75～99歳	100歳以上	計
	男	人	人	人	人	人	人	人
	女	人	人	人	人	人	人	人

2. 保険別の利用者数と訪問回数をご記入下さい。

保険別の 利用者数・ 訪問回数		介護保険	医療保険	その他（自費・申請中等）	計
	利用者総数	人	人	人	人
	延べ訪問回数	回	回	回	回

3. 介護保険利用者の介護度別利用状況についてご記入下さい。

介護保険 利用者 (内訳)		要支援	要介護					計
		1・2	1	2	3	4	5	
	利用者数	人	人	人	人	人	人	人
延訪問回数	回	回	回	回	回	回	回	

4. 貴医療機関の訪問看護が関わった在宅看取りの件数をお伺いします。

令和元年度中の在宅看取り () 人

問6. 貴医療機関の訪問看護で行っている医療処置についてお伺いします。

該当するところに○印をつけて下さい。

医療処置の 実施概況	インスリン	可	・	不可
	点滴・静脈注射・持続皮下注射	可	・	不可
	中心静脈栄養	可	・	不可
	在宅自己腹膜灌流	可	・	不可
	ストーマケア	可	・	不可
	在宅酸素療法	可	・	不可
	人工呼吸器	可	・	不可
	気管カニューレ	可	・	不可
	吸入・吸引	可	・	不可
	服薬	可	・	不可
	経管栄養（経鼻・胃瘻・腸瘻）	可	・	不可
	褥瘡の処置	可	・	不可
	留置カテーテル（膀胱内・腎瘻・膀胱瘻）	可	・	不可
	ペインコントロール	可	・	不可
	リンパドレナージ	可	・	不可
	在宅リハビリ（看護師による）	可	・	不可

問7. 訪問看護ステーションの設置についてお伺いします。

- 1 設置する意向である
- 2 設置する意向はあるが要件を満たさない
- 3 設置する意向はない

ご協力ありがとうございました。

最後にご記入下さいました方の職種とお名前の記載と確認のためにご連絡をすることがありますので、お電話番号のご記入をお願い致します。

職 種 ()

お名前 ()

電 話 ()

恐れ入りますが、令和2年7月20日(月)までにご返送下さいますようお願い致します。